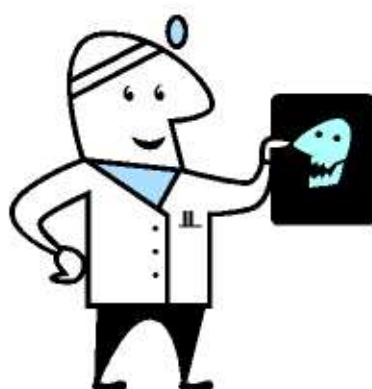


2012年度

環境報告書



【 目 次 】

第1章 巻頭辞と概況

- (1) 巻頭辞…………… P. 1
- (2) 基本的要件と事業の概況…………… P. 2

第2章 環境方針・目標・実績等の総括

- (1) 医療生協さいたまの環境方針…………… P. 5
- (2) 2011年度の目的・目標と実績等の総括…………… P. 6
- (3) インプットとアウトプット…………… P. 8

第3章 環境マネジメントの状況

- (1) 環境マネジメントシステムの状況…………… P. 9
- (2) サプライチェーンマネジメントの状況…………… P. 15
- (3) 情報開示と環境コミュニケーション…………… P. 16
- (4) 環境法規制順守の取り組み…………… P. 17
- (5) 緊急事態対応訓練の概要…………… P. 18

第4章 環境活動に伴う環境負荷及びその低減に向けた取り組みの状況

- (1) エネルギー使用量の削減…………… P. 19
- (2) 紙使用量の削減と再生紙の使用促進…………… P. 24
- (3) 廃棄物の削減と適正な処理…………… P. 27
- (4) 環境負荷を軽減する活動の促進…………… P. 31
- (5) 環境に配慮したまちづくりに参加する…………… P. 32
- (6) もっとも愚かな環境破壊である戦争につながる
行為に反対し、平和を守る…… P. 35
- (7) 原発ゼロを求める活動をすすめます…………… P. 36



第1章 巻頭辞と概況

(1) 巻頭辞

「安全で安心して住み続けられる生活環境を作り出しましょう」

自宅・地域・職場で環境改善の創意ある工夫が実践され、省エネへの取り組みが日常的なものになってきています。いままで「当然消費すべきもの」と考えてきたエネルギーの大切さとありがたさが実践を通して認識されています。

許しがたい原発事故からの復興はいまだに緒に就いたばかりです。この「幕引き」は許されません。同時に風化と風評被害を許さない構えが必要になります。

今後も危険を伴う苦しい取り組みがきわめて長い時間必要とされます。

原発再稼働の策動が「さも当たり前」のように動き出しています。こうした策動は理解できませんし、許せません。

地震・自然災害の常習的侵襲がある日本列島では「安全性」の保障はないことを再度確認しておきましょう。そもそも原発は地球にとっては「百害あって一利なし」ということを共通の考えとしましょう。このことは「チェルノブイリをはじめとした事故」が検証される中で理論的・歴史的に実証されようとしています。

大企業の経済戦略を最優先にしてきたエネルギー政策とその貧困、「国民の安全を最優先とする考え」が無い我が国の歴史が背景にあります。

この「安全への配慮の欠陥・無策」がエネルギー自給率6%、化石燃料への依存年間20兆円という結果として存在しており、これも直視・検証しなくてはなりません。

しかし、我が国や地球上には「太陽光・風力・水力・潮力・バイオマス・地熱など」これからの開発が期待されるエネルギーがあります。安全で安心できる新たな政策を直ぐに作らなければなりません。

T P P 参加方向で生活破壊・利益誘導が横行し始めています。住民の安全と生活だけでなく相互扶助と連帯の絆を大事にしないきわめて無機質な社会への方向が闊歩し始めようとしています。

私たちは格差差別社会へと突き進むことを許さず、自然の最大破壊者となる「戦争政策」を放棄させます。これまで人権を保障し平和を守ってきた憲法の改悪策動を看過することはできません。

地域を見つめ、環境を守る運動の中からも、住みやすい・安心な街づくりを実現し、住み続けられる地域とその場所での雇用の確保までも視野に入れた取り組みにしましょう。

一つ一つの取り組みはしっかりした根拠を持ち、確信になる理論化も視野に入れていくことも大事になってきます。組織を挙げての取り組みとしたいと思います。

今年度も総エネルギーの抑制に向けての取り組みが始まっています。事業規模の拡大にもかかわらず、電力や紙の使用料の抑制への取り組みもなされています。一層の工夫と実践をしていきましょう。

2013年8月1日

医療生協さいたま生活協同組合
理事長 神谷 稔



(2) 基本的要件（対象組織・期間・分野）と事業の概況

① 基本的要件（対象組織・期間・分野）

対象組織：医療生協さいたま全体

対象期間：2012年度（2012年4月1日～2013年3月31日）

対象分野：医療生協さいたまの全事業（保健医療事業、介護事業、配置薬事業、組合員対象サービス事業）

② 事業の概況（2013年3月末現在）

名 称：医療生協さいたま生活協同組合

本部所在地：川口市木曽呂1317番地

代 表 者：理事長 神谷 稔

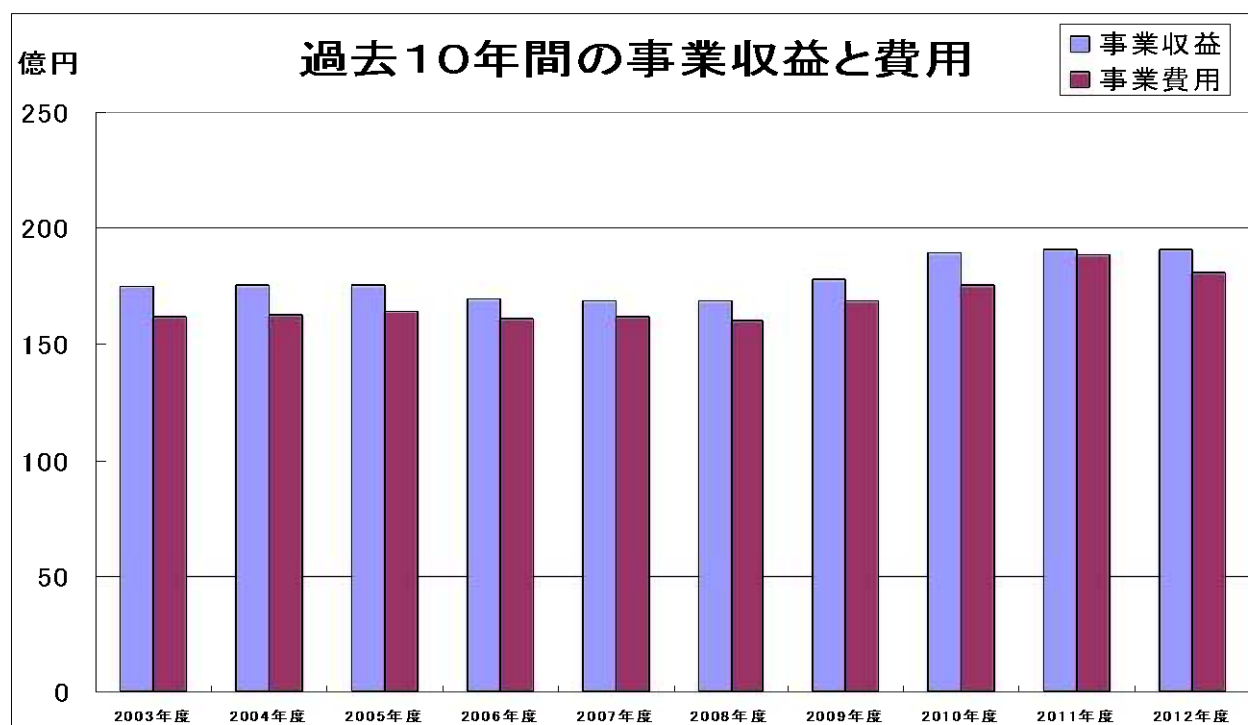
出 資 金：62億2千万円

事業 収益：約191億円

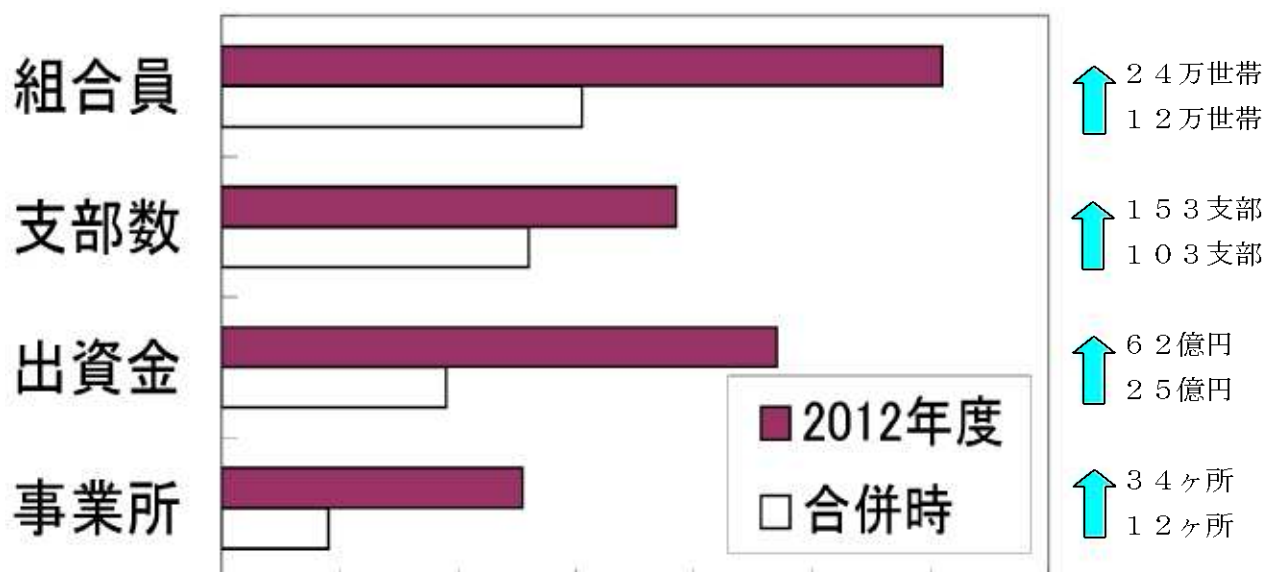
職 員 数：常勤職員 1,288人、非常勤職員806人（常勤換算）

事業 内容：保健・医療事業、介護事業、配置薬事業、組合員対象サービス事業

事 業 所：4病院（一般病床536床、療養型病床95床）、8医科診療所、2歯科診療所、2老人保健施設（入所定員200人）、17訪問系介護事業所、配置薬事業、本部



医療生協合併時（1992 年）から現在までの 20 年間の変化



埼玉県

○熊谷市
・熊谷生協ケアセンター
・熊谷生協病院

○上里町
・生協介護センターこだま

○行田市
・行田協立診療所
・医療生協ケアセンターさきたま

○高崎線

○長瀬町
・生協ながとろケアステーション

○上尾市
・ケアセンターかもがわ

○春日部市
・医療生協ケアセンターひだまり
・かすかべ生協診療所

○秋田市
・秋父生協病院
・生協ちちぶケアステーション

○川越市
・生協ケアセンターたかしな

○ふじみ野市
・医療生協さいたまふじみ野ケアセンター
・おおみや診療所
・医療生協おおみやケアセンター

○さいたま市
・浦和長主診療所
・生協歯科
・ケアステーションうらら

○草加市
・埼玉協同病院
・ケアセンターきょうどう
・老人保健施設みぬま
・医療生協本部
・ケアステーションかしの木

○飯能市
・ケアセンターはんのう

○所沢市
・埼玉西協同病院
・老人保健施設さんとも
・ケアセンターとみおか
・所沢診療所
・ケアセンターとこし

○川口市
・川口診療所
・ケアセンターかがやき
・さいだい診療所

○蕨市
・医療生協ケアセンターわかくさ

○武蔵野線

○さいたま市
・あさか虹の歯科

○川口市

④ サイトにおける業務一覧

No	サイト名	各サイトの業務一覧			
		外来診療	病棟診療	その他	介護事業
1	埼玉協同病院	内科、消化器、循環器、呼吸器、小児科、外科、整形外科、皮膚科、脳神経科、産婦人科、腎臓科、放射線科、眼科、耳鼻科、精神科、リハビリ科、泌尿器科、神経内科	8病棟 401床		訪問リハビリ
2	埼玉西協同病院	内科、外科、循環器内科、眼科、整形外科、皮膚科	1病棟50床	各種健康診断	通所リハビリ
3	熊谷生協病院	内科、小児科	2病棟 105床	各種健康診断	通所リハビリ、療養型病床、短期入所
4	秩父生協病院	内科、小児科、循環器科、消化器科、リハビリテーション科	2病棟 75床	各種健康診断	通所リハビリ、療養型病床、短期入所
5	老人保健施設みぬま				入所、短期入所、通所リハビリ、訪問リハビリ
6	老人保健施設さんとも（ケアセンターとみおか含む）				入所、短期入所、通所リハビリ、訪問リハビリ、居宅介護支援
7	川口診療所	内科		各種健康診断	通所リハビリ、訪問リハビリ
8	さいわい診療所	内科		各種健康診断	
9	浦和民主診療所	内科、循環器科、消化器科		各種健康診断	
10	おおみや診療所	内科		各種健康診断	
11	かすかべ生協診療所	内科		各種健康診断	通所リハビリ
12	大井協同診療所	内科、小児科		各種健康診断	通所介護、訪問リハビリ
13	所沢診療所	内科、循環器内科		各種健康診断	
14	行田協立診療所	内科、歯科		各種健康診断	通所介護
15	生協歯科	歯科、小児歯科、矯正歯科			
16	あさか虹の歯科	歯科、小児歯科、矯正歯科			
17	ケアステーションかしの木				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
18	ケアセンターきょうどう				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
19	ケアセンターかがやき				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援、通所介護
20	医療生協ケアセンターわかき				訪問介護、居宅介護支援
21	医療生協ケアステーションうらしん				訪問看護（別棟）、訪問介護、居宅介護支援、通所介護
22	ケアセンターかもがわ				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
23	医療生協おおみやケアセンター				訪問介護、居宅介護支援、通所介護
24	医療生協ケアセンターひだまり				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
25	生協ケアセンターたかしな				訪問介護、居宅介護支援
26	医療生協さいたまふじみ野ケアセンター				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護（2012.10.1開始）
27	ケアセンターとこしん				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
28	ケアセンターはんのう				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
29	熊谷生協ケアセンター				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
30	生協介護センターこだま				訪問介護、居宅介護支援
31	医療生協ケアセンターさきたま				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
32	生協ちちぶケアステーション				訪問看護、訪問介護、居宅介護支援
33	生協なごうケアステーション				訪問介護
34	本部事務局			法人事務業務 組合員対象サービス	
35	配置業センター			配置業サービス	

第2章 環境方針・目標・実績等の総括

(1) 医療生協さいたまの環境方針

ISO14001 環境方針

地球環境の保全と創造は、21世紀の人類共通の課題であり、私たちひとりひとり（組合員・職員）にとっても、事業者（医療生協さいたま）にとっても、避けて通れない課題となっています。

医療生協さいたまは、「健康な暮らし、明るいまち、生きいき医療生協」をめざし、埼玉県全域で医療・介護のサービスを展開する事業者として、地球環境に配慮した活動を積極的にすすめます。

医療生協さいたまは、大規模な開発による環境破壊や排気ガスによる大気汚染、原発による人体と環境への放射能汚染、そしてもっとも愚かな環境破壊である戦争行為に反対し、いのちと平和をまもり環境を保全する活動にとりくみます。

医療生協さいたまの職員は、毎日の仕事（事業活動・サービス）を通じて、環境の改善及び汚染予防、環境マネジメントの継続的向上をはかり、環境関連の法律や規制、協定を遵守します。

- 1、医療生協さいたまは、環境保全、環境負荷軽減のために以下の事項に積極的に取り組みます。
 - ①電力等、エネルギー使用量を削減します。
 - ②紙使用量を削減するとともに、再生紙の使用を広げます。
 - ③医療材料等の使用にあたって、環境負荷の少ない製品を積極的に選択します。
 - ④廃棄物の適正な処理と削減をはかります。
 - ⑤エネルギー消費や自動車の使用に伴って発生する二酸化炭素、窒素酸化物の削減に取り組みます。
 - ⑥環境に配慮したまちづくりに参加します。
 - ⑦原発ゼロを求める活動をすすめます。
- 2、医療生協さいたまは、各事業所及び生協本部において、環境目的と目標を設定し、環境マネジメントシステムを継続的に見直し、業務の改革につなげます。環境方針及び目標達成の課程と成果は全職員に周知します。
- 3、医療生協さいたまは、この環境方針を、印刷物やホームページ等を通じて広く一般に公表します。

制定日 2004年9月1日

改訂日 2011年7月27日

医療生協さいたま生活協同組合
理事長 神谷 稔

(2) 2012年度の目的・目標と実績等の総括

① 環境目的・目標一覧表

NO	環境目的(到達点)	環境目標	事業所																目的・目標根拠			
			埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	埼玉協同病院	環境方針	環境側面	法規制	利害関係
1	CO ₂ 排出量の削減	電気・ガス使用量を2011年度以下とする	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		夏、冬のエコライフDAYに、それぞれ職員1,500名以上、組合員500名以上が参加	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
2	紙使用量の削減と再生紙の使用促進	紙使用量(購入枚数)を、2011年度の98%以下に削減	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
3	廃棄物の削減と適正な処理	紙類の回収、再資源化の徹底	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
		感染性廃棄物を2011年度以下に削減	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
4	環境負荷を軽減する活動の促進	業務改善・工夫による資源(医療材料)の抑制	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
		環境負荷の少ない製品の積極的選択	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
5	環境に配慮したまちづくりに参加する	組合員と協同して、健康にらせる環境づくりに取り組む	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
		周辺の環境整備や緑化の推進に取り組む	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
6	もっとも悪質な環境破壊である戦争につながる行為に反対し、平和を守る	組合員と共に、「憲法9条」を大切にした平和活動を広げる	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
7	原発ゼロを求める活動をすすめます	原発ゼロを目指して、原発学習会、放射線量測定等に取り組む、原発ゼロ署名を広げる	◎	◎	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇

◎は事業所目標に設定 ◇は環境方針を具体化し(環境活動関連規程等)実施



② 環境管理進捗表

【環境目的・目標達成度を示す情報】

パフォーマンス 2012 年度 実績値（4～ 3月）	電気使用量（2011 年度比）100.5%、ガス使用量（〃）102.8%、水道使用量（〃）97.5%、灯油（〃）78.9%、ガソリン使用量（〃）103.5%、紙（購入量）（〃）105.3%、CO ₂ 排出量（〃）113.0%となりました。 省エネに努めてきましたが、東京電力のCO ₂ 排出係数が大幅に上がった影響もあって、CO ₂ 排出量換算では 113.0%と前年を 13.0%と大きく上回りました。また、紙購入量でも、105.3%で、前年度を 5.3%上回っています。
事業所からの 報告等	・2012 年度の環境情報記録は 30 事業所から 460 件が寄せられましたが、昨年度は 497 件だったので、37 件減っています。5 事業所からは報告がありませんでした。 ・引き続き周辺美化・緑化、紙削減、ゴミの減量化や有効活用等に取り組む事業所が増えてきていて、これらの活動が定着してきています。 ・昨年度に続いて、夏と冬のエコライフDAYにも取り組まれ、のべで 2,955 人分（職員 2,790 人分、組合員 165 人分）を集約しましたが、前年度より減りました。 ・緑のカーテンを育てている事業所が増加し、秩父市から連続表彰されました。 ・原発学習会や放射能測定等の活動に取り組んでいる報告が寄せられています。
その他の情報	・全事業所で環境側面（PFD）シートの見直しが実施されました。 ・2012 年 10 月の ISO 維持審査での不適合指摘は 2 件でしたが、環境に関わるものは 1 件で、廃棄物保管庫について指摘されました。 ・「環境活動月次報告」、「エコニュース」の毎月発行を継続しています。 ・「2011 年度環境活動報告書」が作成され、配布されました。 ・第 10 回環境コンクールが節電・節ガスをテーマに行われ、優秀事業所として、生協介護センターこだま、秩父生協病院、浦和民主診療所が表彰されました。

【評価、コメント】

- 1、パフォーマンスは、項目別にみると電気、ガス、ガソリンで対前年比を上回り、CO₂排出量換算では、東京電力のCO₂排出係数が大幅に上がった影響もあって、113.0%と前年度を 13.0%上回りました。また、紙購入量では、105.3%で、前年度を 5.3%上回りましたが、これは、新しい電子カルテの導入と合併 20 周年関係の印刷物の増加が要因にあると考えられます。
- 2、周辺美化活動やグリーンカーテン、紙削減、ゴミ減量化や有効活用等への継続的な取組を行う事業所が増加し、定着してきています。さらに全事業所へ普及進化していきます。
- 3、省エネ法による、CO₂削減のための中長期計画に基づいて、今年度は埼玉協同病院、埼玉西協同病院等で「LED照明の導入」を実施し、効果が上がっています。
- 4、全県的に継続して「エコキャップ運動」に取り組んできましたが、一昨年度、昨年度と 2 年続けてペースダウンしてきています。今後の方向性も考えた検討が必要と思われます。
- 5、全県で昨年度に続き、夏・冬のエコライフDAYへ取り組みましたが、今後の展開について検討する必要があると思われます。
- 6、原発ゼロに向けて、節電対策の継続と共に放射能測定、原発ゼロ署名、原発ゼロ集会への参加等の取り組みがますます重要となっています。
- 7、平和憲法を守る取り組み、特に職場で憲法を学び改憲の動向を知らせることが重要になってきていると思われます。

(3) インプットとアウトプット (2012 年度)

<インプット> (著しい環境側面)

*電気使用量 (9,717,936kw 時)

*燃料使用量

都市ガス (1,095,415 立方m)

LPG (30,264 立方m)

灯油 (29,690 L)



*自動車用燃料使用量

ガソリン (270,307 L)

*紙使用量 (14,429,500 枚)

*医療材料、衛生材料の使用



*保健医療サービス

●外来 ●入院 ●在宅 ●健診



*介護サービス

●訪問看護 ●訪問介護 ●居宅介護支援 ●通所リハビリテーション
●通所介護 ●訪問リハビリテーション ●老人保健施設入所
●療養型病床の入所 ●短期入所療養介護サービス



*配置薬事業サービス

*組合員対象サービス

●保健教室 ●くらしの学校 ●ヘルパー 2 級及び 3 級講座
●健康機材販売サービス ●組合員情報紙「けんこうと平和」発行サービス



<アウトプット> (著しい環境側面)

*感染性廃棄物 (397,813kg)

*二酸化炭素排出 (7,776,126kg)

*汚水、排水 (119,382 立方m)

*廃現像液 (41 L)



(良い環境側面)

*再生紙の使用

*植木、植栽、観葉植物

*リサイクル製品の利用



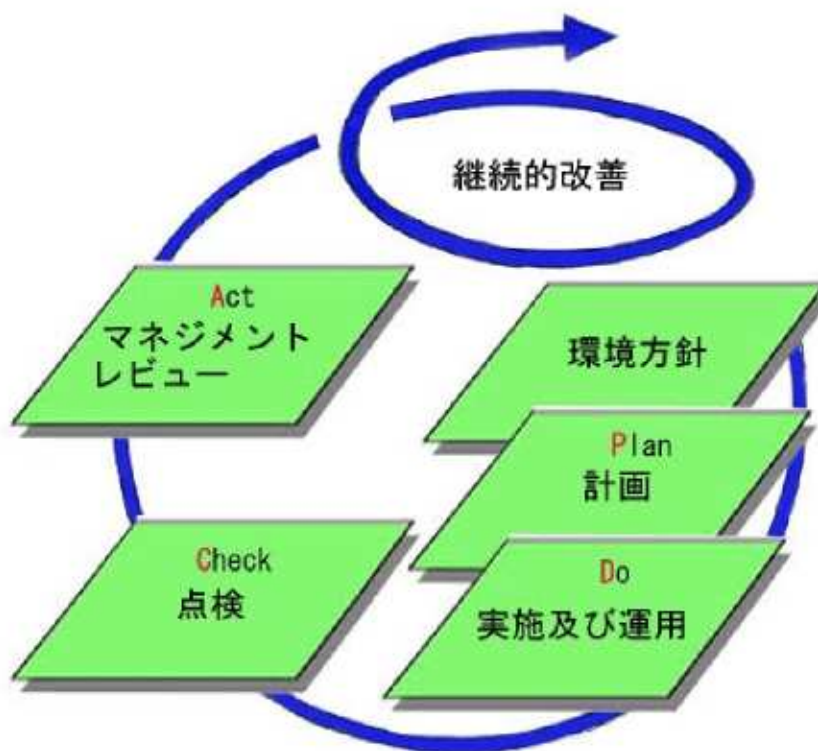
第3章 環境マネジメントシステム

(1) 環境マネジメントシステムの状況

① 環境マネジメントシステムの概要

「環境マネジメントシステム」とは、組織の活動によって生じる環境への負荷を常に低減するよう配慮・改善するための「組織的なしくみ」のことをいいます。

組織が自ら環境方針および目的を定め、その実現のための計画（Plan）を立て、それを実施及び運用（Do）し、その結果を点検及び是正（Check）し、さらに次のステップを目指した見直し（Act）を行うという PDCA サイクルを確立していきます。それによって、環境マネジメントシステムを継続的に向上させ、環境に与える有害な負荷を減少させることをねらいとしています。



<用語解説> ISO

ISO は、国際標準化機構 (International Organization for Standardization) の略称で、各国の代表的標準化機関から成る国際標準化機関です。「民間自身が民間のために民間規格を作る機関」として 1947 年に設立され、本部はスイスのジュネーブにあります。設立の目的は、「商品とサービスの国際的な交換を容易にし、知識・科学・技術・経済に関する活動において、国際的な交流を助長するため、国際的な規模の標準化とこれに関するさまざまな活動を発展・促進すること」とされています。

この標準化機構が定めたものに、「ISO14001」（環境保護に関する目標を決めて取り組むもの）、「ISO9001」（一定水準のサービスを提供するために業務基準を整備してとりくむもの）などがあり、国際的な統一規格となりつつあります。

② 第3者評価の取得

ISO14001とは、国際標準化機構（ISOと略する）が発行した、環境マネジメントシステムの国際規格です。

医療生協さいたまでは、環境問題は人類共通の課題、避けて通れない課題と考えてきました。また、医療・介護事業、健康づくりやまちづくりを担う我々にとっても避けて通れない課題です。そこで、毎日の仕事を通じて改善を続けていく環境保全の水準として、**ISO14001**を2002年11月に取得しました。それ以外にも第3者評価の導入を積極的に進めてきました。以下にその経過を記します。

- ・1998年2月 埼玉協同病院 病院機能評価認定
- ・2002年6月 埼玉協同病院 ISO9001認証
- ・2002年11月 医療生協さいたま ISO14001認証
- ・2003年11月 医療生協さいたま ISO9001認証
- ・2004年11月 埼玉協同病院 ISO9001、医療生協さいたま ISO9001、
医療生協さいたま ISO14001の統合
- ・2005年7月 熊谷生協病院で病院機能評価認定
- ・2006年3月 医療生協さいたま全体でプライバシーマークの認定を取得
- ・2006年3月～5月 埼玉西協同病院、秩父生協病院で病院機能評価認定



環境問題とISO14001の認証取得について

2001年7月3日 本部役員会

1. 環境問題とは何か

①環境問題とは、人間による生産・消費活動が引き起こす地球環境の破壊によって生ずる種々の問題である。大規模な健康影響のみならず、人類の生存そのものを危うくするものとして、21世紀の世界的課題の一つである。

②その主なものは以下のとおり

- ・大気、海洋、水の汚染（道路公害、化学汚染、核実験による汚染等々）
- ・大気中の二酸化炭素等の増加による地球温暖化。
- ・温暖化の結果としての氷河の後退、異常気象、海水面の上昇など
- ・フロンガスの放出によるオゾン層の破壊
- ・野生生物の減少等の生態系の破壊



③近年、環境問題は深刻さを増しており、1992年の「環境と開発に関する国連会議」以降、人間活動のあらゆる分野について、環境保全の観点が求められている。

2. 医療生協の視点

①「自主的組合員活動と信頼される事業を通じてつくる健康な暮らし、明るいまち、生きいき医療生協」（第2次5か年計画メインテーマ）をかかげる医療生協にとっては、事業活動、組合員活動のいずれにおいても避けて通ることのできない課題である。

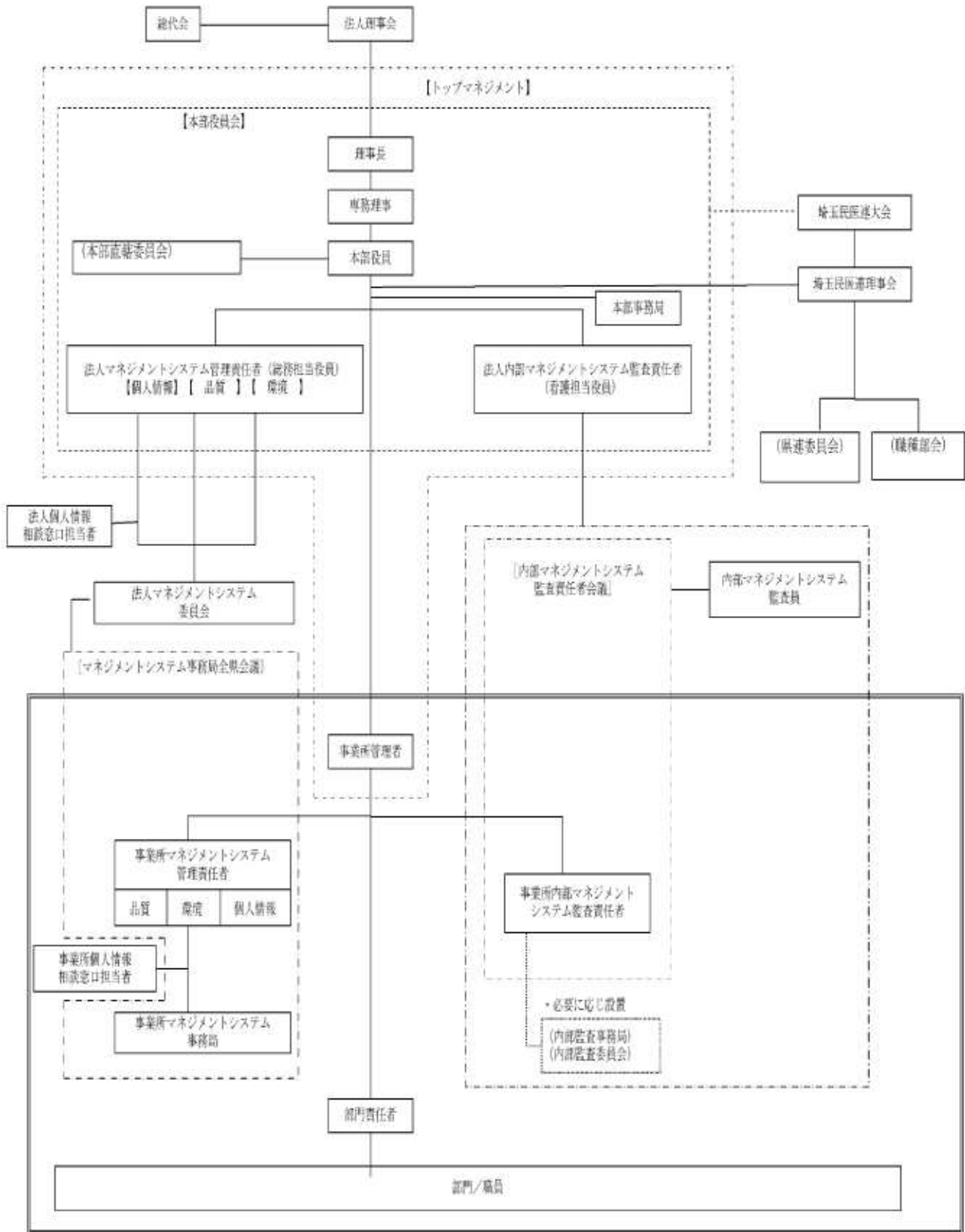
②国や大企業がすすめる大規模な開発による環境破壊や排気ガスによる大気汚染など、環境問題を社会的問題として捉えることは、重要なことである。二酸化窒素の測定活動、ゴミ問題での自治体への要請、など、これまでの活動をいっそう発展させる必要がある。

③同時に、環境問題とは、経済活動に携わる個々の事業者の課題であり、また、個々の働く人々や地域住民の課題であるとの認識も欠かすことができない。このような立場に立つてこそ、私たちは、主体的に環境問題に関わることができる。

3. 具体的な取り組み課題としてのISO14001の認証取得（略）

③ マネージメントシステム運営組織図

医療生協さいたまでは、2004 年 11 月に ISO9001 と統合し、さらに 2006 年 3 月に JISQ15001 を包含して、以下のような運営組織図で、環境マネジメントシステムを推進しています。



④ 環境監査の概要

1) 外部監査

医療生協さいたまでは、審査登録機関による ISO14001 サーバーランス審査を 6 ヶ月毎に受審してきました。しかし、2004 年 11 月の ISO9001 との統合に伴い、以後の審査は、ISO9001 との統合審査として実施されることになりました。

そして、2008 年度からは、それまでの年 2 回から、年 1 回の維持審査を実施することに変更しました。

そのサーバーランス・特別・統合・複合審査が、2012 年 10 月 30 日～31 日に実施されました。

【サーバーランス・特別・統合・複合審査】 2012 年 10 月 30 日～31 日

経営者層、本部機能の審査以外に、埼玉協同病院、埼玉西協同病院、秩父生協病院、老人保健施設さんとも、大井協同診療所、浦和民主診療所、生協歯科、あさか虹の歯科、ケアステーションかしの木、医療生協ふじみ野ケアセンター、ケアステーションうらしん、本部事務局、配置薬センターに審査機関の審査員が出向いての現地審査が行われました。

その結果、高く評価できる点 13 件（品質 11 件、環境 2 件）が検出されたと報告を受けたものの、不適合 2 件（品質 1 件、環境 1 件）と観察事項 25 件（品質 13 件、環境 11 件、共通 1 件）がありました。

環境で不適合の指摘があった内容は、「感染性廃棄物保管庫に定められた表示がされていないのに、環境法規制順守評価記録には該当項目に“○”と評価されていた」点でした。それに対して、ただちに是正処置を取りました。



2) 内部監査

内部監査は、年間計画に基づいて、環境マネジメントシステムの有効性の確認を行うもので、この結果はマネジメントレビューに反映され、継続的な改善が図られています。

医療生協さいたまでは、ISO14001「内部環境監査規程」に基づき内部環境監査を実施してきました。

その後、「品質」及び「個人情報保護」マネジメントシステムとの統合に伴い、「内部マネジメントシステム監査」として、年 2 回 6 月と 12 月に内部監査を実施しています。

【6 月の内部監査】

この監査では、併せて 58 件の不適合と 304 件の改善提案事項が指摘されましたが、良い点は 240 件ありました。その内、環境に関わる不適合は、7 件でした。

【12 月の内部監査】

この監査では、併せて 16 件の不適合と 205 件の改善提案事項が指摘されましたが、良い点は 236 件ありました。その内、環境に関わる不適合は、4 件でした。



⑤ 環境教育のとりくみ

医療生協さいたまでは、環境教育を一般教育、特別教育に分け、それぞれの対象者と教育内容を定め、事業所ごとに年間教育計画を作成して、実施してきました。

一般教育は、環境方針、環境目的・目標等の周知と環境に関する意識向上、緊急事態への対応などについて、パワーポイントを活用するなどして行いました。

特別教育は、著しい環境影響を生じる可能性のある作業に該当する作業手順書、及び該当する緊急事態への対応、不適合への対応、法規制についての周知について行いました。

新入職員に対しては、毎年4月の入職オリエンテーションの時期に、教材を用いて、研修を行っています。



環境学習会で使用したパワーポイントの例

⑥ 環境コンクールのとりくみ

* 第1回環境コンクール——2003 年度

- ☆ベストパフォーマンス賞（賞品：液晶プロジェクター）
 - * 埼玉西協同病院——対前年比 88.2%（CO₂）、85.1%（紙）
- ☆ベストアイデア賞（賞品：スキャナ・コピー等複合機）
 - * 埼玉協同病院「継続的周辺清掃活動が計 12 回」
- ☆情報記録最多賞（賞品：36mm テプラ）
 - * 熊谷生協病院——85 通 * 秩父生協病院——74 通



* 第2回環境コンクール（ペーパーレスコンクール）——2004 年度

- ☆ベストパフォーマンス賞（賞品：デジタルカメラ）
 - * <病院・老健・本部> 秩父生協病院、<診療所> 所沢診療所、<介護事業所> CC とこしん
- ☆ベストアイデア賞（賞品：デジタルカメラ）
 - * 熊谷生協病院「ISOXross に手順書を登録することで紙での全部門配付を行わず紙削減」

* 第3回環境コンクール——2005 年度

- ☆ベストパフォーマンス賞（賞品：デジタルカメラ）
 - * 川口診療所——対前年比 88.9%（CO₂）
- ☆ベストアイデア賞（賞品：自転車、テレビデオ）
 - * 生協歯科診療所の「毎月委員会が担当しての環境活動」
 - * ながとろヘルパーステーション「アイデア生かした環境活動」
- ☆CO₂ 排出量記録賞（CO₂ レポート賞）（賞品：デジタルカメラ）
 - * 埼玉協同病院——毎週定時の測定と統計資料の活用



* 第4回環境コンクール——2006 年度

- ☆ベストアイデア賞（賞品：自転車）
 - * CC ちちぶ「園芸部を作り、年間 100 鉢目標に育てて、利用者宅に配布したり販売した」
- ☆継続活動賞（みんなで続けたで賞）（賞品：テレビデオ）
 - * 老健さんとめ「利用者・組合員・職員が協力して環境活動を推進」

* 第5回環境コンクール——2007 年度

- ☆地球にやさしかったで賞（賞品：マイ箸）
 - * 熊谷生協病院「CO₂ 排出量を対前年度比 94.1% に削減」
- ☆みんなで学んだで賞（賞品：デジタルカメラ）
 - * CC さきたま「環境教育を事業所をあげて推進」
- ☆特別賞（賞品：デジタルカメラ）
 - * 秩父生協病院「エコキャップ運動を事業所をあげて推進」



* 第6回環境コンクール——2008 年度

- ☆ベストパフォーマンス賞（賞品：マイ箸）
 - * 埼玉協同病院「CO₂ 排出量を対前年度比 95.1% に削減」
- ☆ベストアイデア賞（賞品：デジタルカメラ）
 - * 秩父生協病院「環境活動を事業所をあげて推進」

* 第7回環境コンクール——2009 年度

- ☆ベストパフォーマンス賞（賞品：デジタルカメラ）
 - * 生協 CC たかしな「CO₂ 排出量を対前年度比 77.7% に削減」
- ☆ベストアイデア賞（賞品：大型穴あけパンチ、中綴じホチキス）
 - * ながとろヘルパーステーション「不要 FAX を調査して削減した」

* 第8回環境コンクール——2010 年度

- ☆ベストアイデア賞（賞品：扇風機 5 台）
 - * 秩父生協病院「エレベーターにおける閉じ込み事故対策訓練を実施」
- ☆エコライフ DAY 優秀賞（賞品：電気ポット）
 - * 生協妻沼介護センター「夏・冬のエコライフ DAY に全職員参加」



* 第9回環境コンクール——2011 年度

- ☆ベストパフォーマンス賞（賞品：園芸用品一式）
 - * かすかべ生協診療所「電気使用量を対前年度比 78.8% に削減」
- ☆ベストアイデア賞（賞品：エコ用品）
 - * 浦和民主診療所「節電ニュースの発行やチームグリーンカーテンの活動」

* 第10回環境コンクール——2012 年度

- ☆ベストパフォーマンス賞（賞品：テプラ）
 - * 生協介護センターこだま「電気使用量を対前年度比 89.4% に削減」
- ☆ベストアイデア賞（賞品：エコ用品）
 - * 浦和民主診療所「節電ニュースの発行や節電学習会の取り組み」
 - * 秩父生協病院「デマンド対策の実施とグリーンカーテンで秩父市から 2 年連続優秀賞」

(2) サプライチェーンマネジメント (SCM) の状況

① 環境に配慮したサプライチェーンマネジメントシステムの概要

医療生協さいたまでは、新規取引業者の評価および選定に対して、「環境対応」についてを評価項目に入れて選んでいます。

さらに、現在の取引業者についても1年に1回再評価をしています。その時の評価項目にも「環境対応」を加えて、実施しています。

また、施設の新築、改築、設備の更新に際しても、環境に対する配慮を大切にしている、工事の方法、設備の内容にも環境にやさしいものを追求しています。

<用語解説> サプライチェーンマネジメント (SCM)

サプライチェーンマネジメント (Supply Chain Management) は、供給連鎖管理とも訳され、一般的には、製造から販売までの工程における情報を、組織や企業をまたいで共有することによって、効率化とコスト削減などを推進する経営手法のこととされています。

ISO14001 では、2004 年改訂版で「環境側面」の項で「組織が管理でき、かつ影響が及ぼすと思われる」と記載されていた部分が、「組織が管理できる側面及び影響を及ぼすことができる側面」という言葉に改訂され、直接管理できなくとも影響を及ぼすことができる管理側面がマネジメントの対象となることが明確化されました。これによって、従来規格ではあいまいであったサプライチェーンマネジメントを明確に要求するものになったと解されています。付属書で更に具体的な考慮事項が列挙されています。

具体的には、取引先に対して、事業活動における環境配慮の取組に関し、どのような要求や依頼をしているのか、それをどのようにマネジメントしているのかなどのことです。

② 環境に配慮したサプライチェーンマネジメントシステムの実績

ふじみ野ケアセンターの小規模多機能型開設に伴う環境への配慮事項

☆トイレの蛍光灯は、人感センサーを使用することで消し忘れを防止し、電気使用の無駄をなくした。

☆訪問用の車は、できるだけ燃費の良いものをリースするようにしており、廃車時は引き取ってもらって、有効利用を促しています。



☆夏場のデイルームの室温上昇によるエアコン使用を抑制するため、遮光カーテンを設置しました。

☆ガス給湯機の更新にあたっては、効率の良い物を選択し、ガス使用量の抑制を図りました。

取引業者の再評価における環境対応へのチェック

☆毎年度末に、事業所ごとに取引業者の再評価を実施していますが、すべての取引業者について、価格、納期、購買品の品質、個人情報保護体制とともに環境対応を項目に入れて再評価をしています。

☆その内容は、ISO14001 を取得しているかどうか、または、包装の引き取りなどに応じているかを評価しています。

☆再評価の結果、不十分な場合には、取引引きを中止することとしています。



(3) 情報開示と環境コミュニケーション

① ISOXROSSの活用

医療生協さいたまのLANでは、ISOXROSSという文書管理システムを利用して、マニュアルや規程などの文書、監視測定や環境情報などの記録、各種様式、学習資料などを各事業所に提供し、最新版管理をしています。



② 環境情報記録

各事業所からは、内部情報として、環境に関する活動報告、職員の気づきや問題点などが寄せられます。また、外部情報として、患者様や組合員から寄せられた意見や苦情、行政や外部団体から情報も寄せられます。それらをもとに、必要な改善処置を実施しています。

③ 「エコニュース」の発行

2003年5月より、毎月1回定期発行され、必要に応じて号外が出され、メールで全事業所に配信すると共に、ISOXROSSに登録されて閲覧できるようになっています。これには、環境情報記録などで寄せられた環境活動等について、全事業所に知らせたい事項や監視測定結果などが載せられて水平展開されています。

④ 「環境活動月次報告書」の発行

2005年4月版より、毎月1回定期発行され、現在はA4版16ページ立てで、メールで全事業所に配信すると共に、ISOXROSSに登録されて閲覧できるようになっています。これには、事業所毎の各種パフォーマンス値が載せられると共に、環境情報記録の抜粋、トピックスなどが掲載されて、環境活動を進める上での情報開示とコミュニケーションの手段となっています。

6月の内部監査の結果をふまえて、さらなる改善に取り組みましょう!

各事業所での取り組み、情報誌は「エコニュース」等を通じて開示していただくと、よりよく活動いたします。

各事業所で様々な環境美化・緑化活動に取り組んでいます!

今年1月～6月の内部監査の結果をふまえて、さらなる改善に取り組みましょう!

各事業所での取り組み、情報誌は「エコニュース」等を通じて開示していただくと、よりよく活動いたします。

事業所の式部室をふまえて!

各事業所での取り組み、情報誌は「エコニュース」等を通じて開示していただくと、よりよく活動いたします。

維持審査の不適合・観察事項をふまえ、さらに充実したマネジメントシステムに!

各事業所での取り組み、情報誌は「エコニュース」等を通じて開示していただくと、よりよく活動いたします。

各事業所でいろいろなエコ活動に取り組んでいます!

今年1月～6月の内部監査の結果をふまえて、さらなる改善に取り組みましょう!

各事業所での取り組み、情報誌は「エコニュース」等を通じて開示していただくと、よりよく活動いたします。

事業所の式部室をふまえて!

各事業所での取り組み、情報誌は「エコニュース」等を通じて開示していただくと、よりよく活動いたします。

2012年度

環境活動月次報告書

2013年3月版
(2012年度総まとめ)

目次

- R.1 --- 概要トピックス
- R.2 --- 環境活動の紹介
- R.3 --- 緑化・環境美化の推進
- R.4 --- 環境情報記録送付表
- R.5 --- パフォーマンス
- R.6 --- 紙類購入
- R.7 --- ガソリン・軽油購入
- R.8 --- 水道使用量
- R.9 --- ガス使用量
- R.10 --- 電気使用量
- R.11 --- 灯油使用量
- R.12 --- CO2排出量
- R.13 --- CO2排出量構成グラフ
- R.14 --- CO2排出量指標

2013.4.30 法人MIS委員会事務局作成

(4) 環境法規制順守のとりくみ

① 環境法規の最新版管理

各事業所では、それぞれの自治体に対して、環境関係の条例についての聞き取りが進められ、その内容について、環境情報記録として事務局に送られてきます。

また、事務局では、「ISO14001 環境法規制ハンドブック」、「チェックリスト環境保全基準」、インターネット等から常に最新情報を入手するように務めています。

各事業所での環境関係の条例聞き取り事例

☆行田市役所にて確認 (行田協立診療所)

行田協立診療所では、行田市役所環境経済部環境課 環境政策担当：A氏より 4月26日に環境関係の条例について聞き取りを行いました。

《情報の内容》

平成16～25年「行田市環境基本計画第二次実行計画」実施中で、変更点はなしとのことでした。

行田市として、3月26日より、「緑のカーテン設置推進」、3月29日より、「太陽光発電システム設置促進への取り組み」を市として推進していくとの事でした。



② 環境法規等要求事項登録表の更新

2012年度は、関連する法規を調査した結果、“毒物及び劇物取締法”を追加し、下表の20法令について、対応すべき事項を明確にしました。

また、それ以外にも、各事業所から寄せられてきた、それぞれの自治体の環境関係の条例、業界団体等のガイドラインなど対応しなければならない要求事項を特定し、必要に応じて「環境法規等要求事項登録表」を更新しています。

環境法規等要求事項登録表に掲載している20法令

家電リサイクル法、建設資材リサイクル法、廃棄物処理法、PCB
廃棄物処理特別措置法、地球温暖化対策推進法、省エネ法、フロン
類回収破壊法、大気汚染防止法、自動車NOx・PM法、水質汚濁防
止法、水道法、浄化槽法、消防法、高圧ガス保安法、労働安全衛生法、
電気事業法、建築基準法、薬事法、毒物及び劇物取締法、医療法（施行
規則第30条22）



③ 環境法規制順守評価

各事業所では、毎年10月に、「環境法規等要求事項登録表」に基づいて、環境法規制順守評価が行われています。

最新の環境法規等に基づいて、順守されているかを担当者が評価し、コンプライアンスに基づく、環境活動を推進しています。

（５）緊急事態対応訓練の概要

全事業所で「緊急事態の可能性リスト」を作成し、緊急事態に対応するため日頃からそれらに対する対応策を検討し、対応手順を明らかにすると共に、毎年緊急事態対応訓練を実施して、いざという時への備えをしています。

＜緊急事態対応訓練を実施した事例＞

☆かすかべ生協診療所（避難訓練）

かすかべ生協診療所では、5月28日（金）13時45分～14時30分に避難訓練を実施し、参加者は14名でした。

（訓練内容）

① 緩降器の取り扱い方法を器具メーカーの方に説明していただいた。

組み立て方は簡単だった。支柱がしっかり床に固定されていることが重要なので、消防点検で必ず確認すること。避難器具の回り60cm四方は物を置いてはいけない。

② 実際に4名が降りてみました。

体にロープを巻きつけて窓の外に出るのが、ものすごい恐怖でした。降り始めてしまえば、スルスルっと落ちるのであまり怖くないですが、壁やロープで腕を擦りむいてしまいました。

③ 取り扱い上の注意点を確認しました。

片方のロープを必ず窓の外に一度落としてから、降り始めること。同じ形のロープなので反対側を巻いてしまうと、落下事故になります。

初めて緩降器の使い方を知りました。ホテルやデパートなどにも設置されているところがあるそうなので、いざという時に使い方を知っていると逃げられると思いました。

（見直すべき内容）

避難器具の周りに常に物品が置いてあるので、片付けること。



☆生協ちちぶケアステーション（緊急連絡網訓練）

生協ちちぶケアステーションでは、新入職員が入職し、緊急連絡網が変更となったため、5月31日（木）に、緊急連絡訓練を実施しました。

訪問看護・居宅の連絡網変更

「6月3日（日） 熊木町子供会の廃品回収があります。 古新聞・雑誌・段ボールなどがあったら土曜日までに事務所まで届けてください。協力をお願いします」

（結果）

訪問介護：19時25分 → 19時44分 職員7名

訪問看護：19時25分 → 19時42分 職員8名

最後に管理者が内容を確認したが一部追加されていました。

居宅：19時25分 → 19時42分 職員8名

一名電話つながらず後連絡があり対応しました。

概ね内容通りで、時間もかからず最後まで連絡ができました。

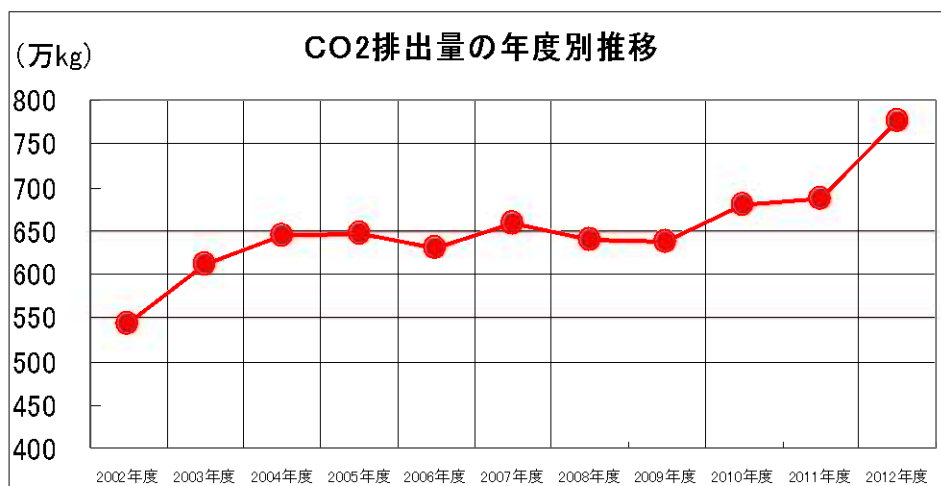


第4章 事業活動に伴う環境負荷 及びその低減に向けた取組の状況

(1) エネルギー使用量の削減

① パフォーマンス値の概要

1) 2012 年度の概要



2012 年度のパフォーマンス値集計の結果、全体のCO₂排出量は、対前年度の累計比で113.0%となり、13.0%増加し、過去最高となっています。

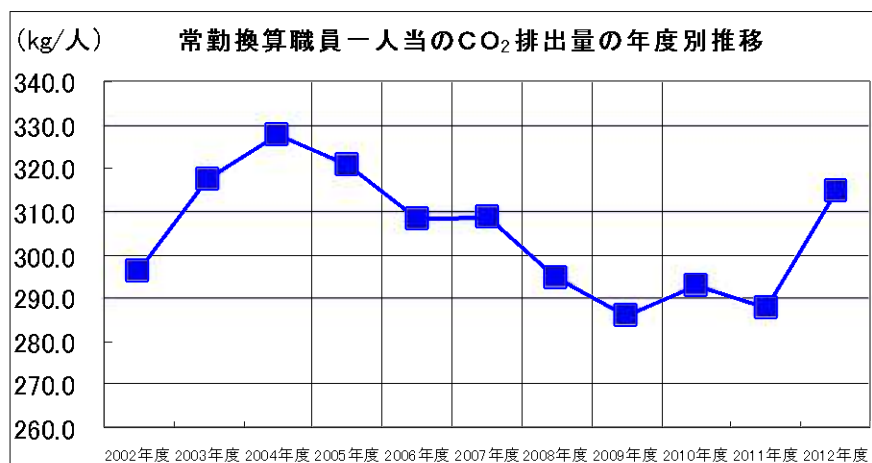
それぞれの使用量は、対前年度比では、左表のように、電気 100.5%、ガス 102.8%、水道

対前年度比	
CO ₂	113.0%
電気	100.5%
ガス	102.8%
水道	97.5%
灯油	78.9%
ガソリン	103.5%

97.5%、灯油 78.9%、ガソリン 103.5%となっていて、電気、ガス、ガソリンで増加し、その結果、CO₂排出量では113.0%と大幅な増加となりました。

これは、東日本大震災以後の節電・節ガス対策を継続したものの、少し戻る結果となったものです。しかし、東京電力のCO₂排出係数が大幅に引き上げられたことにより、CO₂排出量としては大きく増加しました。

2) 常勤換算職員一人当のCO₂排出量は、対前年度比 97.9%と減少

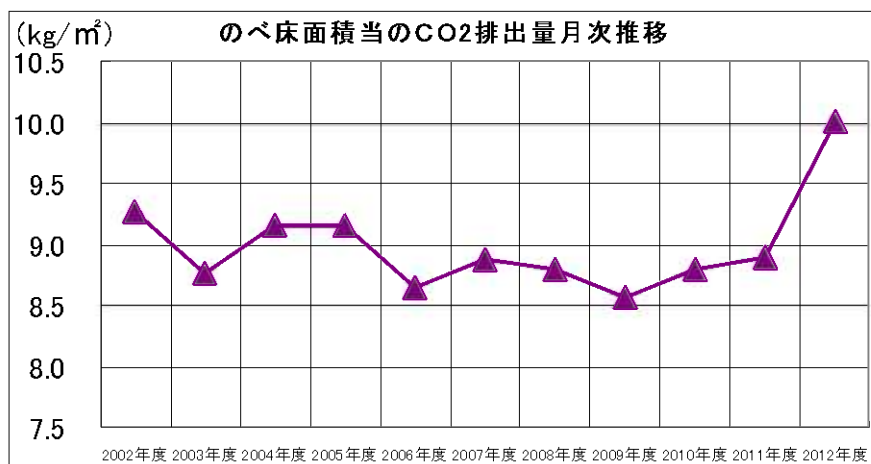


医療生協さいたまにおける常勤換算職員一人当のCO₂排出量を見てみると、2011年度⇒2012年度が、109.4%と増加したものの、計測を開始後最高だった2004年度よりは低くなっていることがわかります。

この8年間で見てみると、常勤換算職員数は年度平均で、2004年度 1,641.8人⇒2012

年度 2,093.7人へと27.5%増加しています。しかし、その割には、CO₂排出量が抑制されてきていることがわかります。

3) のべ床面積当のCO₂排出量は、2002年度より増加し、最高値

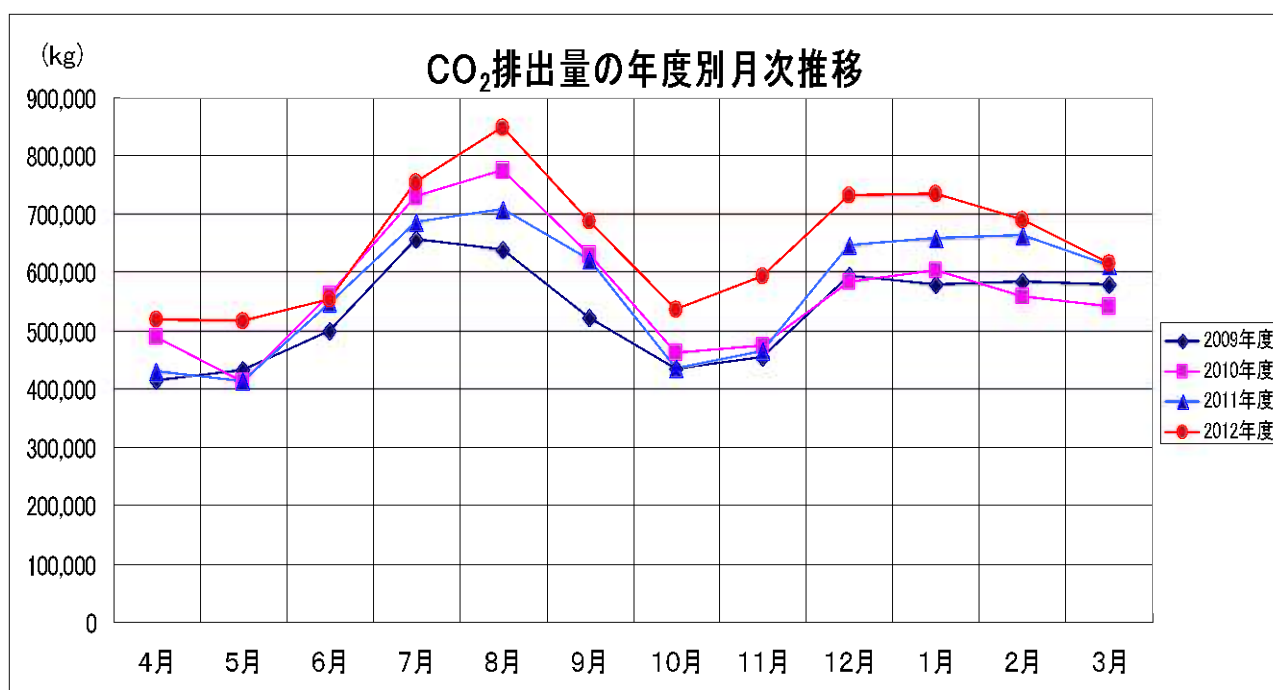


医療生協さいたまにおけるのべ床面積 (m²) 当のCO₂排出量は、2011年度よりも12.3%増加し、10.0kg/m²となりましたが、測定を開始した2002年度より7.5%増加し、最高値となっています。

この間に埼玉協同病院でD館、F館を増築、浦和民主診療所、所沢診療所、生協歯科を新築移転するなど、のべ床

面積が33.7%拡大しています。

4) 月次推移からは、夏期と冬期にCO₂排出量増加



全体のCO₂排出量の月次推移を見ると、上図のように夏期と冬期の割合が高く、空調関係による影響が大きいものと考えられます。特に、2012年度は夏場が猛暑によって、7月、8月、9月が高くなっていることがわかります。

② エネルギー使用量の削減の取り組み

2012年度は、東日本大震災以後の節電の要請も踏まえて、“夏の節電対策”を打ち出し、「電気・ガス使用量を、2011年度以下に削減」することを目標にしてきました。

また、「エコライフDAYに職員1,500名以上、組合員500名以上が参加する」ことも目標としました。

具体的には、「エネルギー使用量削減規程」に基づき、右表のような運用基準によって、全事業所で推進してきました。



エネルギー	運用基準
電気の使用	・節電ステッカーを貼る ・空調温度設定の順守（夏 26℃、冬 22℃） ・パソコンの終業時、不使用時の電源OFF ・エレベーターの使用について、例外除き職員の使用禁止
ガスの使用	・空調温度設定の順守（夏 26℃、冬 22℃） ・ガス器具の業務以外の使用制限
ガソリンの使用	・運行記録表による公用車使用状況の把握と点検 ・ガソリン購入量の請求書、伝票による把握と記録 ・「アイドリングストップ」のステッカーを貼る ・短距離は自転車使用

今年度は、CO₂排出量削減の取り組みを継続するために、7年前から全事業所で実施してきた“クールビズ”期間を昨年並みに拡大し、設定温度も規程より高め、以下のように実施しました。

・全事業所で“クールビズ”を実施

全事業所で、5月15日～10月31日の期間“クールビズ”を実施しました。内容は、

- ① 夏期空調設定温度である 26℃を、当面 2℃高く 28℃に設定し、エネルギー削減効果を高める。
- ② ノーネクタイ、ノー上着などを含め、涼しく、効率的に仕事をすすめる服装を着用する。
- ③ とりくみの内容をポスター等で、職員・組合員・利用者の皆さんにアピールし、理解を得る。

以上で、職場毎に工夫して実施されました。

③ 取り組み事例

各事業所では、「エネルギー使用量削減規程」に基づいて、いろいろなアイデアを出し合って、取り組んできました。以下は、その事例です。

・「埼玉西協同病院 ダウンライト 225 個をLED照明に交換」

埼玉西協同病院では、6月9日に外来フロア及び、病棟廊下のダウンライト 225 個をLED照明に交換しました。



その結果、6月の電力消費量は単月で前年比 95.6%となりました。

電子カルテ更新に伴うサーバー室の設置など、やむを得ず電力消費が増える条件もある中ですので、引き続き全職員が節電の意識をもって取り組むことが大切です。

・「生協介護センターこだま エアコン使用を控えるために工夫をしています」

生協介護センターこだまでは、エアコンの使用を控えるために工夫をしています。

裏口のドアを開けると比較的、風が通るのですが、蚊に悩まされていました。

そこで、今年は早速、ドア用のネットをつけました。

玄関は午後になると西陽が当たり、とても暑くなります。玄関には例年どうり、すだれを掛けました。見た目も涼しそうになりました。



・「ケアステーションうらしん 節電対策に取り組んでいます」

ケアステーションうらしんでは、以下の節電対策に取り組んでいます。

- ・室温 28℃の徹底
- ・使用しないエリアの消灯
- ・また熱中症対策にも取り組む

地域の回覧でも節電の取り組み（2012年7月20日～9月28日）の協力要請もあり、地域全体の節電にも積極的に協力していきます。



・「本部事務局 ふれあい会館2階の窓に遮光フィルムを貼る」

本部事務局は、ふれあい会館2階で仕事をしています。この夏の暑さ対策を本部 MS 事務局・エコリーダー会議で検討しました。



2階のため「グリーンカーテン」や「よしず」の効果は期待薄です。そこで、「機能性ガラスフィルム(遮光・遮熱)」を貼ることにしました。期待できる効果として、冷房と暖房の省エネ効果があります。冷房の省エネ効果は遮蔽係数、暖房は熱貫流率はその効果の目安とされています。

今回使用したフィルムは、遮蔽係数 0.31(透明ガラスは 1.0)、熱貫流率 5.7(透明ガラスは 6.0)の製品です。理論的には有効ですが、まずは、西側窓ガラスに貼って、効果を検証してみます。

・「生協ちちぶケアステーション 昼休みの消灯を工夫しています」

生協ちちぶケアステーションでは、昼休み「節電」で昼の時間蛍光灯を消していますが、時々忘れて電気を消す時間が短くなってしまっていました。

そこで、携帯を利用してタイマーセットすることにしました。

本日携帯が鳴り「何かな？そうだ電気を消さなくちゃ…」と 12 時に電気を消すことができました。



・「秩父生協病院 デマンド対策を実施し、最大使用電力を抑制しました」



秩父生協病院では、MS 事務局により節電・省エネ対策として「デマンド」対策を実施し、例年より最大使用電力を低く抑えることができました。実施した方法として、部門やエリア毎に空調の電源を入れる時間を 30 分間隔で設定して一度に電力負荷をかけないようにしました。

秩父の電力使用ピークは冬期であるので1月～3月期に同様の対策及び効果が得られれば基本料金を低く抑えることができます。冬に向けた対策も行います。

・「ケアステーションかしの木 節電対策を実施しました」

ケアステーションかしの木では、5月10日に社保環境委員会を開き、今年度の節電の取り組み案を決め、5月16日から実施しました。その中で、節電目標を前年比 90% とし、それをめざして節電対策をはじめました。

パソコンのモニターを5分で切れるよう設定し、エアコンフィルター掃除を毎月行い、トイレの便座の夏季期間中保温をオフにします。昼休み休憩時消灯タイムを実施し、ノー残業デイを毎週水曜日とします。グリーンカーテンを設置し、蛍光灯の間引きを継続し、室温設定 28℃としています。



「昨年度から引き続いて夏・冬のエコライフDAYに取り組みました」

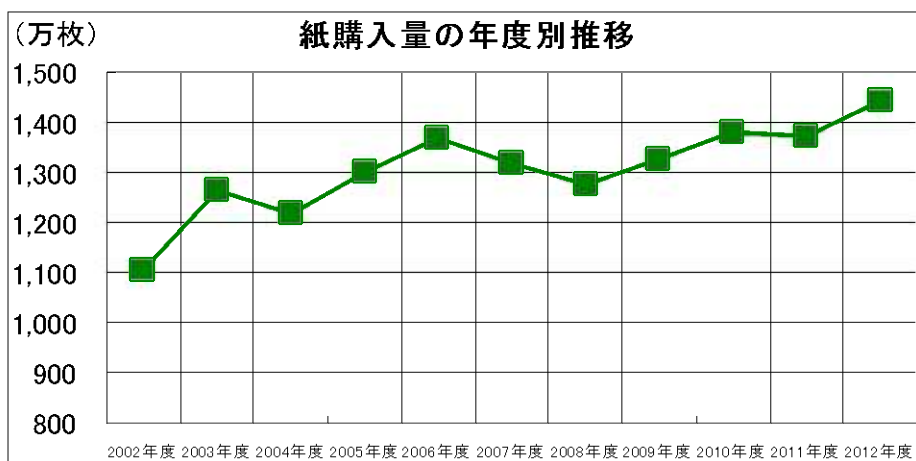
今年度も夏と冬のエコライフDAYに取り組んで、職員と組合員合わせて、夏 1,645 人分、冬 1,310 人分を集約しましたが、これで、CO₂を夏 1,302,899g、冬 1,135,189g 削減したことになりました。

	事業所名	夏の職員・組合員合計			冬の職員・組合員合計		
		枚数	人分	CO ₂ (g)	枚数	人分	CO ₂ (g)
病院	埼玉協同病院	314	426	374,838	286	325	273,423
	埼玉西協同病院	87	91	72,678	21	24	20,108
	熊谷生協病院	81	86	59,234	59	64	51,490
	秩父生協病院	70	73	46,180	24	24	17,755
診療所	浦和民主診療所	29	34	27,394	23	29	24,092
	川口診療所	10	11	9,226	6	6	4,432
	さいわい診療所	15	15	11,168	3	6	1,953
	おおみや診療所	15	20	15,838	16	21	18,661
	かすかべ生協診療所	14	14	11,074	14	14	12,253
	所沢診療所	9	13	12,468	4	4	3,524
	大井協同診療所	71	73	63,042	31	35	32,507
	行田協立診療所	31	35	28,391	19	22	18,739
歯科	生協歯科	52	53	42,598	22	26	19,872
	あさか虹の歯科	11	13	11,031	2	3	3,636
老健	さんとめ	41	45	29,507	62	67	62,000
	みぬま	18	20	13,632	27	32	26,808
本部	本部事務局	61	75	58,527	61	77	65,935
	配置薬センター	5	5	2,303	5	5	3,608
介護事業所	熊谷生協 C.C.	33	44	33,852	40	50	43,705
	生協ちちぶ C.S.	44	60	39,666	43	53	43,223
	生協ながとろ C.S	11	30	19,869	10	20	15,936
	生協介護 C.こだま	19	19	13,533	20	20	18,186
	C.C.さきたま	16	21	13,160	11	21	16,547
	C.C.うらしん	50	55	43,804	37	39	35,372
	C.C.かがやき	38	40	36,539	40	45	45,072
	C.C.かもがわ	26	35	28,960	29	37	33,525
	C.C.きょうどう	31	32	23,589	33	34	28,000
	C.C.ふじみ野	22	32	25,739	31	37	38,830
	C.C.たかしな	31	33	29,174	29	30	32,940
	C.C.とこしん	24	24	16,858	17	25	20,259
	C.C.わかくさ	20	24	20,909	20	28	28,120
	C.C.はんのう	17	17	11,732	20	21	15,785
	C.S.かしの木	21	24	17,484	27	28	26,279
	ひだまりSt	12	12	7,738	13	16	12,420
	おおみや C.C.	36	41	31,164	20	22	20,194
合 計		1,385	1,645	1,302,899	1,125	1,310	1,135,189

(2) 紙使用量の削減と再生紙の使用促進

① パフォーマンス値の概要

1) 2012 年度の概要



2012 年度のパフォーマンス値の集計の結果、全体での紙購入量は、対前年度累計比で 105.3% となり、5.3% 前年度を上回り、昨年度減少に転じたものが、反転しました。

法人全体では年度で、14,429,500 枚の紙を購入しましたが、2011 年度よりも 723,000 枚増加し

ています。年間購入枚数を面積にすると 990,036 m² となり、東京ドームの 21.7 倍に相当します。

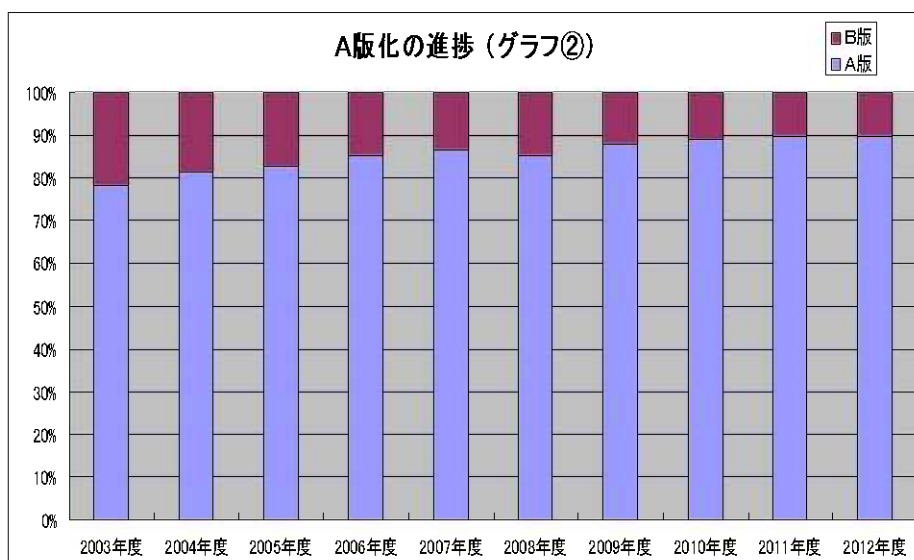
また、常勤換算職員一人当たりによると、年間紙購入量は約 6,892 枚で、1 シメ 500 枚で数えると、一人約 14 シメになります。

今年度は、紙使用量をさらに削減させるため、マネジネントシステム委員会で紙の購入・使用について分析し、夏に 2012 年度の紙使用量削減対策（購入・使用管理対策、配布物の削減・電子化、会議での使用枚数削減など）を提起しましたが、“昨年度の 98% 以下にする” という 2012 年度目標には、及びませんでした。

紙の購入量は、2 年連続で大幅に増加していたものが、昨年度少し減少に転じたものの、今年度は反転増加となりました。これは、新しい電子カルテの導入と合併 20 周年関係の印刷物の増加が要因にあると考えられます。今後は、各事業所の紙使用の実態を分析し、いろいろと工夫して、紙使用量の削減を進める必要があります。



2) A 版化の進捗

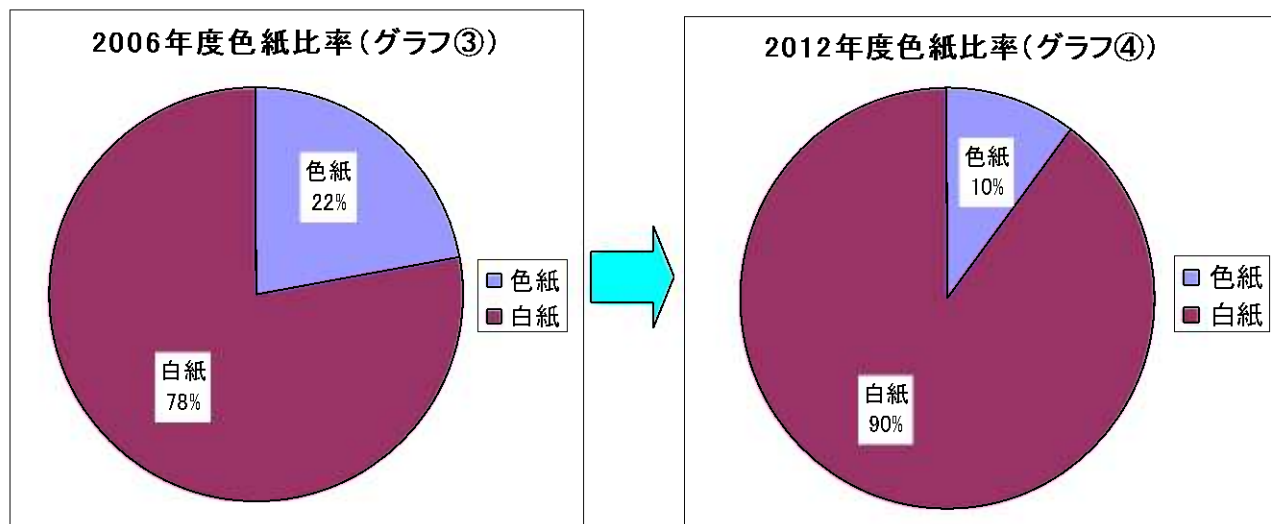


A 4 版化は、医療生協さいたま全体の方針として、この間推進してきました。その結果、左のグラフ②に見られるように、2003 年度 78.4% だったものが、徐々に増加し、2012 年度には、89.6% へと至っていますが、昨年度よりは、0.2% 後退しました。

埼玉協同病院、埼玉西協同病院、秩父生協病院、行田協立診療所、老人保健施設みぬま、介護事業所では、A 4 版化は 9 割以上に達していますが、ま

だ5割、6割水準にとどまっているところも見られます。それらの事業所での用途は、色紙同様組合員向け支部ニュース等が主とのことですが、B4版→A4版により、パルプ使用量も減り、単価も半分近くへ減少するのでさらに相談しながら推進する必要があると思われます。

3) 色紙使用の適正化



私たちが使っている色紙は古紙配合70%以下で100%の再生紙ではなく、購入単価もA4白紙（古紙100%）とA4色紙（古紙70%薄口）を比較すると3.5倍、A4色紙（古紙70%中厚）と比較すると5.1倍と白紙の3～5倍もするのでほんとうに必要なものなのか検討の上、削減をはかる必要があることを2006年度から提起してきました。

しかし、組合員や患者向け配布物に色紙が多く使われていて、減少しにくい現実がありましたが、埼玉協同病院や秩父生協病院、熊谷生協病院、川口診療所、おおみや診療所、所沢診療所、あさか虹の歯科、老人保健施設みぬま、介護事業所等では、きちんと訴えて、徹底して管理したことなどにより、数%台まで減少させてきています。

それらによって、色紙比率は、2006年度22.3%（グラフ③）あったものが着実に減少し、2012年度は10.3%（グラフ④）と、6年間で12.0%減ってきています。

今後さらに、エコ推進と経費対策の両面から、さらに白紙に切り替える必要があると思われます。

② 紙使用量削減の取り組み

運用基準
・会議使用枚数の設定 ・機関紙、ニュースの効率的活用 ・紙購入量のチェック ・裏紙使用、両面使用の推進 ・メールの積極的活用、FAX 効率的活用 ・再生紙の使用促進

2012年度は、前年度少し減少に転じたものの目標には及ばず、それまで大幅に増えてきたことをふまえて、「紙使用量（購入枚数）を2011年度の98%以下に削減する」ことを目標にし、全県会議でも紙使用量削減を強調しましたが、反転増加して目標は達成できませんでした。

具体的には、「紙使用量削減・再生紙の使用促進規程」に基づき、左表のような運用基準によって、全事業所で推進してきました。

③ 取り組み事例

各事業所では、「紙使用量削減・再生紙の使用促進規程」を受けて、様々なアイデアを出し合って、紙使用量の削減に取り組んできました。次は、その事例です。

・「埼玉西協同病院 紙使用量削減キャンペーン実施」

埼玉西協同病院では、「27枚以上の単票印刷は印刷機で！製本印刷機能を活用してください。紙使用量削減キャンペーン実施中。」のお知らせをコピー機の横に掲示し、部門責任者会議でも周知し、紙使用量の削減を呼びかけました。

林事務長が製本印刷機能をジョブメモリー登録しました。

—オーッと歓声が！



・「本部事務局 A3版2つ折り印刷の普及を目指す」

本部事務局では、12月の第9回本部MS事務局・エコリーダー会議の決定に基づいて、本部2階のコピー機2台（印刷室と面談室奥）とオルフィスの所にA3版2つ折り印刷のやり方の案内を置き、また、本部全職員にメールに添付して送付しました。

これによって、A3版2つ折り印刷が普及して、紙枚数の削減や印刷経費の減少につながればと考えています。



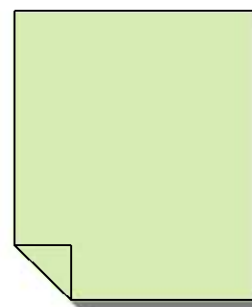
・「生協歯科 紙使用量の削減を目指す取り組み」

生協歯科では、改めて、「紙使用の削減」策としてコピー用紙の「裏面使用の徹底」の取組みを強化しました。

①通常コピー機のA4カセットに裏紙を入れている。

②コピー機の前に「コピー機の裏紙使用にご協力ください。」チラシを張り出し。

また、受付けの「治療内容説明書」の余白（A6サイズ）を廃棄せず他院所へ提供（骨密度形の結果用紙に使用できる）し、紙の無駄をなくす取組みも開始しました。



・「秩父生協病院 会議での紙使用枚数手順書を見直しました」

秩父生協病院では、会議の使用枚数手順書を見直しました。

①会議使用枚数については、現状を守ること。

②院内報10,000枚については変更ありませんが、組合員も増えており、9,300枚を地域へ配布し、外来数で調整し無駄がないように配布します。

③メールの活用・裏紙の活用については、継続して取り組み、紙の削減に向けて各部門取り組むよう指示しました。

追加でコピー機用紙確認項目を入れてチェックするようにしました。

昨日から確認をしています。無駄はしない！みんなで頑張っています。



・「埼玉協同病院 コピー用紙の発注管理の徹底とパソコン発注への切り替え」

埼玉協同病院の総務課では、コピー用紙の発注・管理をおこなっているため、コピー用紙の納品数、また、各部門による持ち出し台帳と、毎月のコピーカウント、そこに印刷枚数チェック表を作成し、コピー用紙の動きを調査をし、「通船堀」（総務課ニュース）を発行しました。

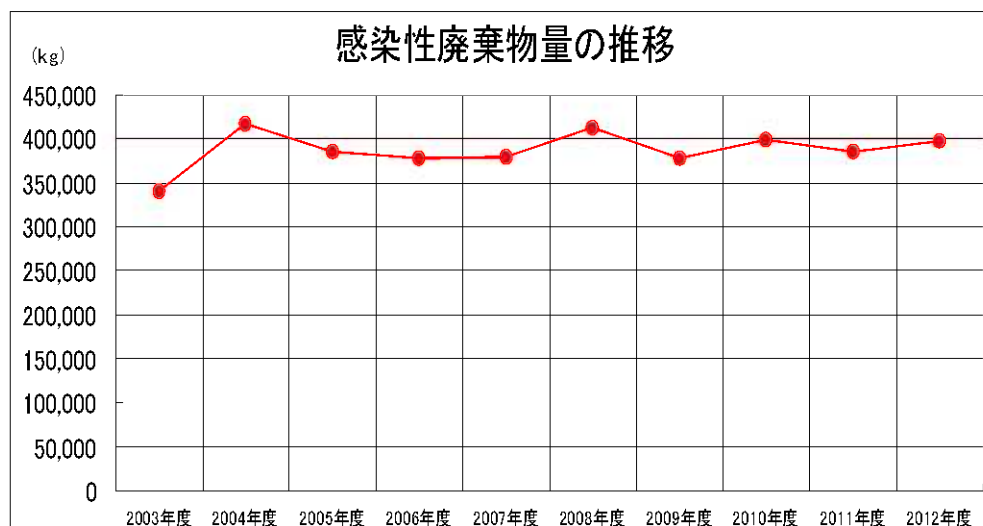
また、コピー用紙の発注を今までのFAX発注から、パソコン発注に変更をしたことで、年間を通して、去年よりも用紙の削減をすることが出来ました。また、それに伴い毎日の発注する用紙代金もタイムリーにわかるようになりました。



(3) 廃棄物の削減と適正な処理

① パフォーマンス値の概要

1) 感染性廃棄物のパフォーマンス値

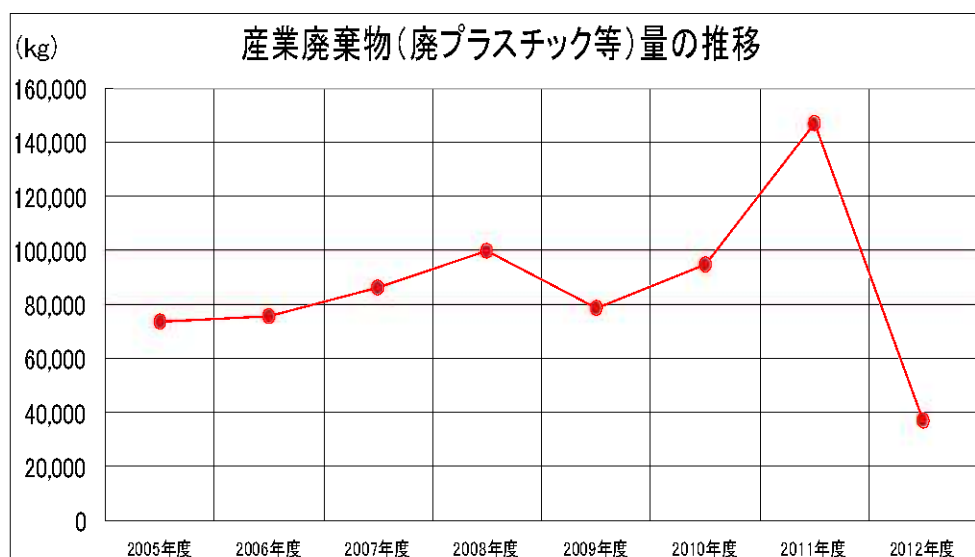


左図のように、全体での感染性廃棄物量は、2003 年度⇒2004 年度で 122.5%と増加しましたが、本来一般の産業廃棄物としてもよい廃プラスチック類をより管理の厳しい感染性廃棄物として処理する事業所が増えたためでした。しかし、

2004 年度⇒2006 年度では、2 年続けての減少となったものの、2006 年度⇒2008 年度では、逆に 2 年続けての増加となりました。2008 年度⇒2009 年度では、91.6%と減少しましたが、2009 年度⇒2010 年度では、105.4%と再び増加転じました。その後、2010 年度⇒2011 年度では、96.8%と減少に転じましたが、2011 年度⇒2012 年度では 103.1%と増加しています。

(尚、1 m³=300 kg、1 L=0.3 kg で換算)

2) 産業廃棄物（廃プラスチック他）のパフォーマンス値



左図のように、全体での産業廃棄物量（廃プラスチック他）は、2005 年度 3 年連続増えましたが、2008 年度⇒2009 年度では、79.2%と減少に転じたものの、2009 年度⇒2011 年度では、120.3%、186.3%と再び大幅な増加に転じています。その中で、本来

一般の産業廃棄物としてもよい廃プラスチック類をより管理の厳しい感染性廃棄物として、いっしょに処理する事業所が 6 事業所あるので、その分産業廃棄物量（廃プラスチック他）は、プラスして考える必要があります。2011 年度から 2012 年度にかけて大幅に減っていますが、熊谷生協病院で計量単位を体積から重量に変更したことと、埼玉西協同病院で病院機能評価の関係で 2011 年度に大量に廃棄物を出したのが、通常に戻ったことによるものと考えられます。

(尚、1 m³=300 kg、1 L=0.3 kg で換算)

3) 廃酸・廃アルカリのパフォーマンス値

次図のように、全体での、現像液（廃酸・廃アルカリ）廃棄量は、2003年度から2006年度にかけて、3年続けて大きく減少しましたが、2006年度⇒2007年度では、111.7%と増加しました。

しかし、それ以後は4年連続して減少していたものの、2011年度⇒2012年度は若干増えています。



ます。

これは、レントゲン撮影のデジタル化が順次進められ、フィルム現像液・定着液の使用が大きく減ってきているためです。

2011年度には、おおみや診療所でデジタル化され、残っているのは、行田協立診療所の歯科だけとなっています。

② 廃棄物削減と適正な処理の概要

目標	運用と活動	運用基準
紙類の回収、再資源化の徹底	紙類の分別基準徹底	・紙類の分別と有効活用
感染性廃棄物を 2011年度以下に削減する	マニフェストの交付	・マニフェストの交付と管理の徹底
	法に基づいた適正な運用	・法的手続きの適正化

2012年度は、「紙類の回収、再資源化の徹底」、「感染性廃棄物を 2011年度以下に削減する」の2つを目標に取り組みを進めてきましたが、感染性廃棄物は少し増加してしまいました。

具体的には、「廃棄物管理規程」に基づき、上表のような運用基準によって、全事業所で推進してきました。また、医療廃棄物がどのように処理されているのかについて、現地に赴いて確認することも行っており、適正な処理に努めています。

③ 取り組み事例

各事業所では、「廃棄物管理規程」に基づいて、いろいろなアイデアを出し合っており、取り組んできました。以下は、その事例です。

・「生協ちちぶケアステーション 地域の廃品回収に参加しました」

生協ちちぶケアステーションでは、地域にある熊木町子供会の廃品回収に参加しました。

事業所で出た段ボールはもちろん、職員にも声をかけ古新聞、古雑誌、段ボール等協力してもらい土曜日までに事業所に集めました。夕立が心配だったので新聞などの上にビニールを載せました。隣の方が隣組長の方で、お願いをした所「そこに置いてもらえば大丈夫。出しとくよ」との事でした。

地域との連携！！ 私たちにできることはこれからも参加していきたいと思っています



・「熊谷生協病院 コーヒー豆のカスを肥料にしています」



熊谷生協病院では、いろいろとアイデアを出して、資源のリサイクルに取り組んでいます。

その中で、コーヒー豆のカスを草花の土に入れ込み、土の通気性の確保と肥料にしています。

廃棄物の有効活用だと思います。

・「秩父生協病院 ラップ芯を使った血液循環体操を紹介」

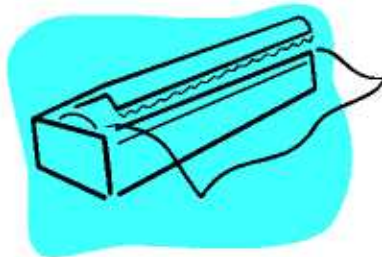
秩父生協病院では、今年度、毎月の組合員さん向け「食のインストラクター養成講座」で簡単な運動を紹介しています。

先月・今月と「ラップ芯」を使った血液循環体操を紹介しました。

廃棄物としてしまう「ラップ芯」を利用してできるものです。

参加者の方に手軽で家にあるものでできるので、好評でした。

人にも教えたいと、「ラップ芯」を持ち帰られた人もいます。



・「医療生協おおみやケアセンター コーヒーカスを消臭剤として再利用」



医療生協おおみやケアセンターでは、デイサービス利用者さんの中に、たばこを吸う方がいます。

そこで、消臭効果があると言われているコーヒーを作った後のカスを廃棄せずに、灰皿として使用している缶の中に入れて再利用しています。

・「埼玉協同病院 感染性廃棄物の最終処分場の見学に行ってきました」

4月17日、埼玉協同病院の感染性廃棄物の最終処分場の見学にいきました。最終処分場の現地確認は排出者の責務として求められていることであり、当院からの廃棄物が最終的にどのように処分されているかを実際に知ることは重要だと思いました。

当院から発生する感染性廃棄物はいったん群馬県高崎市にある群馬環境リサイクルセンターに搬送され「中間処理」されます。ここでいう中間処理とは、感染性廃棄物を焼却し、減量化、滅菌・無毒化することです。それにより焼却灰となった廃棄物は、福島県いわき市にある「ひめゆり総業株式会社」に搬送され、最終処分場に埋め立て処分されます。

ひめゆり総業の最終処分場は、フラガールで有名なハワイアンズのある福島県いわき市にあり小高い山の谷を利用して埋め立て処分を行っています。（「管理型最終処分場」というそうです。）

埋め立てる際は、表面に廃棄物が表出しないよう土を重ねて何層にも埋め立てていく手法がとられているそうです。また、処分場に降り注いだ雨水は、処分場から外の地面に滲出しないように集められ、重金属類や廃棄物からしみでる様々な物質を除去し、きれいに水にして排出するように設備が整えられていました。



大変よく整備されている施設で、ごく普通の土砂を整地している土木工事現場のような状況でした。しかし、埋め立てられるスペースは有限であり、現在埋め立てているスペースはまもなく限界となり、あらたな埋立地を新しく作る必要に迫られているとのことでした。そのための県の認可はなかなか下りないとのことで、非常に苦労されているとのことのお話も聞きました。

「各事業所でエコキャップ運動を推進しています」

医療生協さいたまの各事業所では、エコキャップ運動を事業所を挙げて推進するとともに地域にも広げてきています。

これは、エコキャップ推進協会で行っている事業で、ペットボトルのキャップを集めて、世界の子供たちにポリオワクチンを受けさせるというものです。

その内容は、キャップ 400 個 10 円で業者に引き取ってもらい、その利益でポリオワクチンを購入します。1 人分 20 円で接種することができるそうです。

また、業者に引き取られたペットボトルのキャップは、コンクリートパネルなどの製品に生まれ変わり、有効活用されるので、ゴミの削減、そしてCO₂削減としても期待されています。

その結果、2013 年 3 月 31 日現在の全体の累計では、64,926kg（約 25,970,392 個）のキャップを収集しました。これは、32,463 人分のポリオワクチンを提供出来たことになり、またCO₂を 204,517kg 削減できたことに相当しました。

事業所別エコキャップ収集数一覧(2013 年 3 月 31 日現在)

事業所名	収集数(個)	収集量(kg)	削減CO ₂ (kg)
埼玉協同病院	4,246,200	10,616	33,439
埼玉西協同病院	1,447,032	3,618	11,395
熊谷生協病院	4,073,360	10,183	32,078
秩父生協病院	5,098,220	12,746	40,148
浦和民主診療所	616,920	1,542	4,858
川口診療所	1,456,830	3,642	11,473
さいわい診療所	2,315,550	5,789	18,235
おおみや診療所	831,600	2,079	6,549
かすかべ生協診療所	410,900	1,027	3,236
所沢診療所	1,332,090	3,330	10,490
大井協同診療所	587,960	1,470	4,630
上福岡協同診療所	223,760	559	1,762
行田協立診療所	1,768,720	4,422	13,929
生協歯科診療所	703,920	1,760	5,543
老人保健施設さんとも	654,330	1,636	5,153
本部事務局	113,720	284	896
介護事業所	89,280	223	703
合 計	25,970,392	64,926	204,517



生協介護センターこだまでは事務所内に大きな籠を置き、エコキャップの回収を常時行なっています。先日にも熊谷生協病院にペットボトルのエコキャップを届けました。今年度も早速、「センターニュースほのぼの」40 号でペットボトルのエコキャップを集めていることをお知らせしました。引き続き、取り組んでいきます。

生協ちちぶケアステーションでは、6 月 29 日にエコキャップが新たに 4,800 個集まり、秩父生協病院に届けました。登録ヘルパーさんのご主人の職場、子供さんのお母さんたち利用者様、ご家族様、職員の友人が勤めている会社など多くの人に協力をしていただいています。

(4) 環境負荷を軽減する活動の促進

① 「環境負荷を軽減する活動促進」概要

2012年度は、「業務改善・工夫による資源（医療材料）の抑制」と「環境負荷の少ない製品の積極的選択」を目標に取り組みを進めてきました。

具体的には、「環境負荷軽減活動規程」に基づき、下表のような運用基準によって、全事業所で推進してきました。

環境目標	運用と活動	運用基準
業務改善・工夫による資源（医療材料）の抑制	業務改善・工夫による資源（医療材料）抑制手順の研究	・業務手順の改善による推進
環境負荷の少ない製品の積極的選択	医療・衛生材料の対象品研究と採用	・調査研究と採用品の決定
	その他の対象品の採用拡大	・採用品目を増やす

② 取り組み事例

各事業所では、「環境負荷を軽減する活動促進」について、いろいろなアイデアを出し合って、取り組んできました。以下は、その事例です。

・「埼玉西協同病院 感染性廃棄物用のゴミ箱を改善しました」

埼玉西協同病院の診察室にある医療感染性廃棄物用のゴミ箱は以前はサイズが小さく、手で蓋を開けるタイプでした。

そのため、舌圧子が蓋から飛び出してしまう感染の危険性がありました。

それを足踏み式でサイズも大きくすることで上記の不具合を解消しました。

これで、少しは環境負荷の軽減につながったのではないかと思います。



・「秩父生協病院 排泄カードを使ってオムツの使用量削減」



秩父生協病院では、オムツの感染性廃棄物削減の取り組みとして、オムツなどの排泄用品を使用している入院患者様へ排泄カードを各居室のベッド上に掲示しています。

各職員が適切な時間帯に適切な排泄用品を選択できるようにすることで、オムツの選択間違いによる無駄を防止しています。

・「本部事務局 端数の出たラベルを名札に活用しました」

本部看護部では、学生宛の葉書や学校宛のご案内を送付する際に、差し込み印刷をしてどうしても出てしまっていた端数分のラベルをキャリ2講座の名札に活用することにしました。

そのため、使用ができなくなったラベルの有効活用と、いままで作成していた名札の紙の節減ができました。



(5) 環境に配慮したまちづくりに参加する

① 「環境に配慮したまちづくりに参加する」概要

2012 年度は、「組合員と協同して、健康にらせる環境づくりに取り組む」、「周辺的环境整備や緑化の推進に取り組む」ことを目標に活動を進めてきました。

具体的には、「環境に配慮したまちづくりに参加する活動規程」に基づき、下表のような運用基準によって、全事業所で推進してきました。

環境目標	運用と活動	運用基準
組合員と共に健康に くらせる環境づくりに 取り組みます	環境をテーマとしたイ ベント開催（地区毎）	・各種行事や健康まつり等において、 環境に関わるイベントの実施
	環境に関する学習、啓蒙 活動の推進	・各事業所は環境に関する学習会を年 1 回以上開催
周辺的环境整備や緑 化の推進に取り組 みます	植栽や観葉植物の設置	・設置場所の決定と、担当者配置など の措置 ・事業所周辺の環境保全と緑化に役立 つ計画を立てて、実行
	自治体、地域の環境に関 する事業、企画に積極 的に参加する	・関連する自治体、地域の環境に関す る事業、企画に積極的に参加する

② 取り組み事例

各事業所では、「環境に配慮したまちづくりに参加する」活動について、いろいろなアイデアを出し合って、取り組んできました。以下は、その事例です。

・「生協ながとろケアステーション 地域の“ごみゼロの日”に参加しました」



5月の最終日曜日 27日は、生協ながとろケアステーションの事務所のある野上地区恒例の“ごみゼロの日”でした。

当事業所からも職員がたくさん参加し、地域の方々と一緒に1時間程ゴミ拾いや植え込みの草むしりを行いました。

新緑の中、観光客が増えている長滞です。気持ちよく散策が出来るよう協力できました。

・「秩父生協病院 秩父市の“緑のカーテンコンクール”で優秀賞をもらう」

秩父生協病院は、秩父市の“緑のカーテンコンクール”に応募し、優秀賞をいただきました。当院の回復期リハビリテーション病棟にて毎朝、リハビリの一部として園芸活動を行っています。

昨年に引き続き、今年度も緑のカーテン（へちま）を患者様と一緒に作ろうという案があがり、協働で育ててきました。

スタッフは素人の為、患者様にどのように鉢を作るかなども聞きながら進めて行き、成長していく過程を患者様共々楽しんでいきます。



・「さいわい診療所 台風接近による庭木の手入れ」

さいわい診療所では、台風接近のため庭木の手入れをしました。

去年の9月21日は診療所の大木が台風で倒れました。危ないので上青木のボランティアさんが草木の手入れをしました。土も入れ替え葉っぱも切り取りきれいになりました。

Sさんは先週もエアコンの室外機周辺の草取りをしていただきました。「診療所をきれいに・・・」といつも思っておられる組合員さんを増やしたいと思います。支部の組合員さんご協力お願い致します。



・「本部事務局 第2回目のふれあい会館周辺の清掃活動を実施しました」

10月29日〈月〉8時40分～9時30分に本部ISO14001の企画として、本部MS事務局・エコリーダー会議の提唱で、今年度第2回目の清掃活動となる、ふれあい会館周辺の雑草抜きを行ないました。



各部から20名が参加し、軍手や鎌、剪定ばさみなどを使い、ふれあい会館周辺の花壇の草抜きをしていきました。その結果、1時間弱の行動で、ゴミ袋25袋以上が一杯になりました。

当日は、晴れの天気でしたが、そんなに暑くもなく、多くの参加者で手分けしてやり、とてもきれいになったと思います。

・「埼玉協同病院 病院の周りの樹木の剪定作業を行いました」

埼玉協同病院では、ボランティアさんのご協力によって、病院の周りの緑の保全としての樹木の剪定作業が取り組まれています。

剪定作業は、病院の正面玄関の周り、保育所の周り、C館の裏側、ふれあい会館の周り、駐車場や駐車場内に有る河川、病院北側道路沿い、研修棟の周りなど、多くの低木や高木の剪定作業をして頂いています。

今までは、伸び放題、荒れ放題で、その都度、スポット的に業者をお願いしていました。剪定作業の他に、樹木の害虫駆除や除草なども、季節毎に通年的に実施して頂いています。



・「ケアセンターさきたま グリーンカーテンを育てました」

ケアセンターさきたま事務所の裏庭で育てていた緑のカーテンが、やっとお盆過ぎからカーテンらしくなってきました。今年の猛暑によく耐えたと思います。

最初、ふうせんかずらが咲き、次に去年のこぼれダネで芽を出したるこう草とあさがおが現在キレイです。



職員みんなに是非見ていただきたいと思い声をかけています。なかなか来客者や、デイサービスのご利用者様にはみていただくことができないのが残念です。

植えた琉球アサガオのブルーですが、もうそろそろ咲きそうな感じですよ。

まだ楽しめそうなので、最後までキレイに咲かせてあげたいと思います。

「二酸化窒素の測定」実施 ～組合員との協同で環境守る活動推進

「埼玉の空をきれいにする会」に加盟する「埼玉県生活協同組合連合会」の一員として、医療生協さいたまも毎年6月と12月の年2回二酸化窒素濃度測定に取り組んでいます。測定数を昨年同月と比較すると、6月は65.3%、12月は56.4%と共に減少しています。



<2012年二酸化窒素測定の結果>

6月測定は測定登録箇所のうち、576ヶ所での測定結果を分析し、単純平均は24.5ppbになりました。昨年同期（2011年6月）の平均は32.6ppbだったので、昨年よりは低い数値になりました。

また、12月測定は測定登録箇所のうち、467ヶ所での測定結果を分析し、単純平均は27.2ppbになりました。昨年同期（2011年12月）の平均は21ppbだったので、昨年よりは高い数値になりました。

二酸化窒素の環境基準（1978年に基準改定）			6月測定数		12月測定数	
・60ppb(0.06ppm)超	…環境基準を超える	（かなり汚れている）	2	0%	1	0%
・40ppb超 60ppb未満	…ゾーン基準内	（汚れている）	40	7%	74	16%
・20ppb超 40ppb未満	…基準以下	（まあまあ）	310	54%	288	62%
・20ppb以下	…旧基準内	（きれい）	224	39%	104	22%
			576		467	

◆ppm（パーツパーミリオン）

100万分の1を表す単位で、大気汚染の汚染物質の濃度を表す単位として使われます。例えば、大気中二酸化窒素1ppmとは、1立方mの大気中に1立方cmの二酸化窒素が含まれていることになります。

◆ppb（パーツパービリオン）

10億分の1を表す単位で、1ppmは1ppbの1000倍にあたります。

1ppb=0.001ppm=10億分の1=0.0000001%



<2012年12月二酸化窒素測定値ワースト10>

順	ppb	市町村	院所	支部	測定地点住所
1	61	春日部市	かすかべ	春日部東	小渕 1416 国道 16 号地下道と合流点
2	59	横瀬町	秩父	横瀬	横瀬 1103-2 国道 299 号（武秀前）
3	58	春日部市	かすかべ	春日部南	備後西 1-9-17 自宅前
4	55	春日部市	かすかべ	春日部北	国道 16 号梅田交差点
4	55	蓮田市	かすかべ	蓮田	根金交差点
6	54	春日部市	かすかべ	春日部北	西八木橋 2 島忠
6	54	春日部市	かすかべ	春日部南	大場 1521 交差点
6	54	久喜市	かすかべ	栗橋	東 4-3-2 白元通り 読売新聞交差点
9	53	春日部市	かすかべ	春日部東	小渕 1491-2
9	53	春日部市	かすかべ	春日部南	武里南小前

(6) もっとも愚かな環境破壊である戦争につながる行為に 反対し、平和を守る

① 「もっとも愚かな環境破壊である戦争につながる行為に反対し、平和を守る」の概要

2012年度は、「組合員と共に、『憲法9条』を大切にしたい平和活動を広げる」ことを目標に進めてきました。

具体的には、「戦争につながる行為に反対し平和を守る活動規程」に基づき、下表のような運用基準によって、全事業所で推進してきました。

環境目標	運用と活動	運用基準
組合員と共に、「憲法9条」を大切にしたい平和活動を広げる	平和をテーマとした学習会等の開催	・各事業所で年1回以上計画し、実行する
	戦争に反対し、平和を守る活動に取り組む	・各事業所の特色や部門の特色を生かして取り組む

② 取り組み事例

各事業所では、「戦争につながる行為に反対し平和を守る活動規程」に基づき、いろいろな工夫をして取り組んでいましたが、以下は、その事例です。

- ・「生協ちちぶケアステーション 千羽鶴を折って広島へ届ける」
生協ちちぶケアステーションでは、6月はじめごろから昼休みを利用して職員で千羽鶴を折り始めました。
利用者様からも折鶴を折っていただき7月中旬、きれいな千羽鶴の束が完成しました。
原水爆禁止・平和を祈って広島に届けていただきます。



・「かすかべ生協診療所 平和のつどいを開催しました」



かすかべ生協診療所では、8月27日（月）14：00～ 社保委員長会議の後、地区の平和のつどいを開催しました。
職員と組合員で20名の参加でした。
今年、原水禁広島大会に参加した2名の報告後、参加者全員で平和の歌を合唱しました。

・「秩父生協病院 オスプレイ配備に関する学習会を開催しました」

秩父生協病院では、9月7日にオスプレイ配備にかんする学習会を実施し、22名の職員が参加しました。

オスプレイが5年間で58回もの事故を起こしていること、爆音を響かせること、モード変換時に不安定となり事故につながっている事、アメリカ軍がオスプレイ整備を急いでいる理由などを学習しました。また、普天間基地の危険性（住宅地である事）が世界的に見ていかに異常なことであるかも再認識しました。

また、“9/9 オスプレイ配備反対沖縄県民大会”に当院から2名の職員が参加するということになり、壮行会も同時に行いました。



(7) 原発ゼロを求める活動をすすめます

① 「原発ゼロを求める活動をすすめます」の概要

2012年度は、「原発ゼロを目指して、原発学習会、放射線量測定等に取り組み、原発ゼロ署名を広げる」ことを目標に、進めてきました。

具体的には、下表のような運用基準によって、全事業所で推進してきました。

環境目標	運用と活動	運用基準
原発ゼロを目指して、原発学習会、放射線量測定等に取り組み、原発ゼロ署名を広げる	原発ゼロをテーマとした学習会等の開催	・各事業所で年1回以上計画し、実行する
	原発ゼロ署名に取り組む	・各事業所の特色や部門の特色を生かして取り組む
	放射線量の測定に取り組む	・定期的に測定していく。

② 取り組み事例

各事業所では、「原発ゼロを目指す企画に取り組み、原発ゼロ署名を広げる」方針に基づき、いろいろな工夫をして取り組んできましたが、以下は、その事例です。

・「秩父生協病院 放射線量の測定を実施しました」

秩父生協病院のMS委員会で院内の各箇所を巡り、放射線量の測定を実施しました。5回測定し、平均値を求める方法で8箇所を回りました。土の多いところ、湿っているところは高めであることが分かりました。

院所付近の田んぼの測定もさせていただきました。普段から院内を測定している様子を見て「うちのも測ってみてくれ」等やり取りがあるとのことで、近隣の方も院の活動や放射線量に興味を持っておられることが分かりました。

スタッフも知らないことが多く、様々な質問が出ました。それぞれ興味を持っていることがよく分かった測定会でした。



・「本部事務局 環境学習会“原子力発電と環境問題”を開催」

7月3日(火)午後2時～3時 ふれあい会館第2会議室にて、本部環境学習会を開催し、本部各部より11名が参加しました。



テーマは、「原子力発電と環境問題」で、パワーポイントを使って、原子力発電の仕組みと放射能の影響、東日本大震災と福島原発事故による電力不足に対応する節電対策について話されました。

事後の感想文でも、原発問題や節電対策への理解が深まったという感想が多く出されました。

・「さいわい診療所 研修医と共に放射線量測定をしました」

11月12日、研修医K医師とさいわい診療所地区・I理事と上青木の組合員さんの3人で上青木、青木地区の放射線量を測定しました。前回まわったところもありますが公園や住宅街、施設のまわりなどを測定しました。15ヶ所測定しましたが目だって高いところはありませんでした。平均値として0.01から0.08の間でした。

去年は震災の年でしたので0.2～0.3の数値が出ました。今度の衆議院選挙の公約にもなっていますが原発は即時なくしていきましょう。



☆放射線量測定運動への取り組み

○新しい放射線測定器の導入について！

日本医療福祉生活協同組合連合会から購入の斡旋があり、1台購入し現物機器の操作性などを確認しました。その上で、今後も継続して放射線量測定を行うためにも、校正可能な機種に揃える事を法人東日本大震災対策本部の会議で決定しました。MIRION 社製の RDS-30 は国際規格の IE60846 に準拠しており、フィンランド製で国際シェアが 50%、海外ではフランス軍が採用、国内では、消防庁、行政で使われています。埼玉県内でも、熊谷、東松山、羽生、吉川、松伏など多くの自治体で使用しており、川口市でも簡易用として使用しており信頼できる機種です。4台購入し、2012 年 7 月より各支部で使用開始しました。

○組合員による支部での放射線量の測定！

☆「所沢診療所地区社会保障委員会報告」より

所沢診療所地区でも、継続することが大切であると放射線量測定運動を続け 2011 年 9 月、2012 年 3 月、そして今回 2012 年 7 月に 3 回目の測定を行いました。

＜放射線量測定の目的＞

- ①組合員の健康被害への不安に応え、身近なところや心配な場所の放射線量の測定を行う。組合員の生活圏の放射能汚染の状況を把握する。
- ②測定結果を集約し、県や自治体に対しモニタリングを行なう場所の増加、情報の速やかな公開と対策を求める。
- ③測定した線量データが高値の場合は、自治体による精密放射能測定器での再検査を要望する。

＜測定結果について＞

今回は、5 支部が 53 箇所の測定を行いました。全体的には、前回と大きな変化はありませんでした。高めの地区は、小手指支部山口団地横雨どい下 5cm が 0.36、小谷公園近くの排水溝 5cm が 0.26、三ヶ島支部西狭山ヶ丘 1 丁目交差点 0cm が 0.29 でした。

☆「2012 年 8 月地区理事報告」より

・川口診療所地区西川口第 3 支部

「支部地域内生活クラブと一緒に 7 月 15 日と 17 日に計 32 ケ所で放射線量測定を行ない、5 名が参加（内 2 名が生活クラブ）し、仲間増やしに結び付きました。」

・川口診療所地区蔵支部

「6 月 27 日と 30 日に計 30 ケ所で放射線量測定を行ない、3 名が参加しました。」

・浦和民主診療所地区南風支部

「7 月 11 日に放射線量測定を行ないました。数値的には昨年と変わりませんでしたが、事故以前の数値がわからないので、この数値が平常より高いのか低いのか判断できません。」

・浦和民主診療所地区針ヶ谷・領家支部

「放射線量測定を行ないました。」

・埼玉西協同病院地区中新井第 2 支部

「6 月 26 日に 11 ケ所で放射線量測定を行ない、5 名が参加しました。」

・埼玉西協同病院地区西富岡支部

「6 月 21 日に 10 ケ所で放射線量測定を行ない、5 名が参加しました。」

・埼玉西協同病院地区狭山市支部

「放射線量測定 17 ケ所 7 名参加」





医療生協さいたま 2012年度

環境報告書

発行：2013年8月1日

発行者：医療生協さいたま生活協同組合

〒333-0831

埼玉県川口市木曾呂 1317

TEL (048-294-6111)

編集：医療生協さいたまマネジメントシステム委員会